

# イタリア文化会館の寄贈になる映像資料のデータベース化

研究年度・期間：平成 26 年度

研究ディレクター：石井 元章  
(教養課程教授)

共同研究者：豊原 正智      ニーリ パオロ  
(芸術計画学科教授)      (教養課程非常勤講師)

学外共同研究者：鈴木 国男      近藤 直樹  
(共立女子大学      (京都外国語大学  
文芸学部教授)      イタリア語学科准教授)

近年在関西イタリア文化会館は、領事館と同じ建物に置くというイタリア政府の方針に従って、日本におけるイタリア学の発祥の地である京都から大阪に移転し、その際に行なわれた所蔵資料整理の結果、90本に及ぶVHSテープが本研究のディレクターに寄贈された。その内容は西洋美術史から演劇、映画、ドキュメンタリーと多岐に亘り、かつ現在では入手困難な内容のものもある。本研究ではまず富山県の会社に委託して現在最も普及したメディアであるDVDに当該資料を変換した。その後、共同研究者がそれぞれの専門に応じた担当分野のDVDの内容を次の通りデータベース化した。

美術史 (34本)：石井元章 (研究ディレクター：大阪芸術大学教授)

演劇 (16本)：鈴木国男 (共立女子大学文芸学部教授)

演劇 (17本)：近藤直樹 (京都外国語大学准教授)

ドキュメンタリー (5本)：パオロ・ニーリ (大阪芸術大学非常勤講師)

DVDの複写、会計、データベース入力：豊原正智 (大阪芸術大学教授)

各研究者の報告は後にこれを掲載する。

本研究の成果であるDVD資料とデータベースは大阪芸術大学図書館に寄贈し、教員・学生の研究・調査に供する。また、寄贈元のイタリア文化会館にはDVDをコピーし、データベースと共に御礼として寄贈した。

美術史：石井元章

美術史の分野に属するDVD34本は、イステイトウト・ルーチェ (研究所「光」)の企画になる『イタリア絵画選集 (Antologia della pittura italiana)』のシリーズが29本、修復現場や展覧会を主題とした3本、その他2本からなる。

共同研究者の豊原先生、鈴木先生、近藤先生、ニーリ先生、および私の5人で事前に行った

ミーティングで取り決めたように、「原題」「日本語訳タイトル」「ジャンル」「制作年」「作者」「スタッフ」「上映時間」「内容」「コメント」の9つの項目について可能な限りデータを収集した。その作業方法は以下のとおりである。

- ①すべてのDVDを視聴する
- ②DVD本体、および帯から得られる情報をもとに、上記9項目を作成する。
- ③足りない部分はLa nuova enciclopedia dell'arte Garzanti、新潮世界美術辞典などを参照して作成する。

『イタリア絵画選集』は、ジョルジョ・マスケルパを中心とした監修陣がその多くを担当しているが、監督は一つ一つのドキュメンタリーごとに異なる。これらは先行研究に基づく優れたテキストを持ち、撮影も鑑賞に耐えうるよう至近距離から行われたものが多い。これに対して、他の研究者が監修したもの、すなわち62. ジョット、70. レオナルドとその周辺、72. 偉大なるマニエラ、82. 未来派、83. ウンベルト・ボッチョーニとアントニオ・サンテリアの5本はこれらとは異なり、それぞれの担当監修者の特徴が良く現れた特色あるドキュメンタリーに仕上がっているものの、品質は一定しない。『イタリア絵画選集』のシリーズは日本でも名の知られたジョットやレオナルド、ラッファエッロのような巨匠ばかりでなく、少し知名度の落ちる(イタリアでは著名である)ベッカフーミヤロレンツォ・ロット、ジュリオ・ロマーノ、フェデリコ・パロッチ、ガイド・レーニ、グエルチーノ(近年チェント市を襲った地震により開館不能に陥った同市立美術館収蔵の作品を中心とした展覧会が、今春、東京上野の国立西洋美術館で行われた)、ジュゼッペ・マリア・クレスピ、カナレットなどのモノグラフを扱う点で興味深い。

しかしながら、これらのDVD共通の難点は、映像の質である。1980年台から1990年代にかけて撮影されたこれらのドキュメンタリーの映像は、ハイビジョンやブルーレイなどの高品質な映像に慣れた我々の眼には残念ながら満足のいくものとは言えない。また、『イタリア絵画選集』は、日本語でDVDの出されていない作家に関して一般の学生の教育にも資するが、そのためには字幕を入れる必要がある。

『イタリア絵画選集』以外のドキュメンタリーのうち「花の聖母大聖堂大円蓋」は1980年から1995年まで行われた大修復の際に足場から撮影された貴重な記録である。最後には修復前後のフレスコ画の比較が行われており、非常に興味をそそられる。マンフレディとモランディの展覧会を扱った2本は、展覧会場を撮影しただけのドキュメンタリーである。

「都市ローマの姿を変えたティチーノ出身の建築家達」は何世紀にも互って優れた彫刻家が輩出したことで名高いスイスのティチーノ地方を切り口とした興味深い作品である。これに対し、「不思議の国、美術と都市、イタリア美術の至宝10」は、貴石博物館やスキファノイア宮殿、ノルマン大聖堂など珍しい文化財を選んでいるものの、映像と音声は他の作品以上に問題が多い。

総じてこれらのDVDは内容的には興味深い作品が多いものの、映像としてアピールしにくいことは否定できない。

#### 演劇1：鈴木国男（共立女子大学）

大阪芸術大学の石井先生の依頼により、イタリア文化会館所蔵の視聴覚資料のデータベース化の作業に参加した。私は演劇の分野を近藤直樹先生と分担した。

- ・ピランデッロの世界 7本
- ・ダリオ・フォー 1本
- ・20世紀演劇の動向 8本

である。夏季休暇中に全作品を観た。前二者については自分の専門であり、同じDVDを持っているため、比較的早くデータベース化を進められたが、「20世紀演劇の動向」については思ったより時間が掛かった。

今回調査対象であったDVDは映像の画質と音声の質が低く、鑑賞に耐えないものも多々ある。前二者の映画・演劇作品は人気が高いため、これらの作品は既にDVDとして再販されていて、容易に入手できる。その点では、市販のDVDを購入の方が手取り早いかもしれない。

#### 演劇2：近藤直樹（京都外国語大学）

大阪芸術大学の石井先生の依頼により、イタリア文化会館旧蔵の視聴覚資料データベース化の作業に参加した。私が担当したのは方言演劇にかかわる部分で、その多くが19世紀後半から20世紀半ばまでのナポリ方言劇作品である。

その内訳は以下の通りである。

- ・ニーノ・マルトーリオのシチリア方言劇
- ・ジーノ・ロッカのヴェネツィア方言劇
- ・エドゥアルド・スカルベッタのナポリ方言劇
- ・ヴァレンティネッティのイタリア語劇
- ・トトのナポリ方言による映画（原作は前述したスカルベッタのナポリ方言劇）
- ・エドゥアルド・デ・フィリッポのナポリ方言劇
- ・映画監督アントニオーニに関するドキュメンタリー

石井先生、豊原先生、鈴木先生、ニーリ先生そして私近藤の5人で行われた事前のミーティングの席で取り決めたように、「原題」「日本語訳タイトル」「ジャンル」「制作年」「作者」「スタッフ」「上映時間」「内容」「コメント」の9つの項目を設けて、可能な限り全てのDVDに関するデータを埋めた。

その作業方法は以下のとおりである。

- ①全てのDVDを視聴する
- ②DVDから得られる情報をもとに、上記9つの項目を作成する。
- ③足りない部分はイタリアの演劇百科事典などを参照して作成する。

こうした工程によって、2014年の夏季から年末までに、大方の作業を完了した。

唯一、No.13のDVDに関しては、必要なデータを集めることが叶わなかったが、19世紀後半ミラノで活躍した劇作家ベルトラッツィの『我がミラノ El nost Milan』の第二部であろうことだけは理解できた。

方言文化が生活に根付いているイタリアのような国の文化を理解するためには、こうした方言演劇は資料としてきわめて有効ではあるが、以下の点において、全てのDVDが資料的価値を有しているとは思えない。

- ①スカルペッタ、デ・フィリッポ、トトなどの映画・演劇作品は、イタリアにおいても人気があるため、今回視聴した作品は既にDVDとして再販されていて、安価に、そして容易に入手できる。
- ②おそらくは1980年代に市場に流通していたVHSの映像をDVDにダビングしたものであるため、映像、音声ともに、視聴に困難を伴う場合がある。
- ③方言演劇は、イタリア語上級者でも聞き取りが難しく、また扱われている主題も、その地域の文化に根差しているため、簡単なコメント程度では理解が難しい。一つの作品につき、90分程度の講義が必要かと思われるものもある。

#### DVD複製・会計：豊原正智（大阪芸術大学）

イタリア文化会館より、京都から大阪への会館の移転に伴い、イタリア文化に関わる90本のビデオテープ（VHS）が寄贈された。現在、大阪芸術大学図書館及び教室、各教員研究室の映像設備は、そのほとんどがDVDあるいはBlu-ray用であり、寄贈されたビデオテープを研究ならびに授業への有効活用に資するためには、メディアの変換が必要である。従って、本研究では先ず、それらVHSビデオテープの映像資料をすべてDVDに変換することにした。

90本の映像資料のDVD変換は専門業者に委託されたが、一部がPAL方式（日本のビデオ信号方式はNTSCであり、PALはイタリアの方式）であったため、業者では変換できず、それら一部のビデオテープを、豊原の研究室にあるPAL方式専用のビデオデッキでNTSC方式へ変換した。このようにして、寄贈されたVHSビデオテープがすべてDVDに変換され、次にこの変換された90本のDVDをオリジナルとし、この全資料をイタリア文化会館、大阪芸術大学図書館及び石井元章研究室のために3セットコピーし、さらに、各研究領域ごとに分けられた数十本づつをそれぞれの研究分担者のためにコピーし送付した。このダビング作業のために、専用のDVDデュプリケーターを購入したが、このデュプリケーターは、1本のオリジナルDVDから短時間に3本の複製を同時に行うことができ、非常に効率的であった。

このようにして作成された資料に基づき、各研究分担者は西洋美術史、イタリア映画、ドキュメンタリー、演劇の動向、方言による演劇等に関わる分析・研究を行ない、それらのデータを一括して、私が以下の項目に従い、データベースソフト（商品名：FileMaker Pro 13）を用いデータベース化した。

#### 資料番号

1. 原題、日本語訳
2. ジャンル
3. 制作年
4. 作者(作家)
5. スタッフ(劇作家、キャスト)
6. 上映時間
7. 内容(あらすじ)
8. 解説(作品の意義)

現在作業を継続中であるが、資料が膨大であること、一定の字数に整理すること、文言の統一等に関して非常に難しい作業である。しかしながら、このソフトによるデータベースは、完成すれば様々なキーワードのよる検索が可能であり、今後研究資料として、イタリア研究に関わる教員、大学院生、学部学生、その他一般にとって貴重な資料となろう。

ドキュメンタリー：パオロ・ニーリ(大阪芸術大学非常勤講師)

私の担当した「男の印」「ウンブリアのゴットルド」「オルヴィエート大聖堂」「生きている岩」「1187年制作の十字架」の5本のドキュメンタリーは、美術品の修復や自然を扱った14分から20分の短いものである。しかしながら、内容自体が貧弱なことに加え、映像と音声の質が低く、これらのドキュメンタリーは鑑賞に値しないと考える。

#### 総括

イタリア文化会館より寄贈されたVHSテープが本研究によりDVDにメディアム移行できたことは一つの成果である。またこれらのドキュメンタリーのデータベースも完成間近である。その結果、学生・研究者は容易にこのコレクションにアクセスが可能になることが期待される。各共同研究者の報告が示しているように、これらの中には優れた内容のものが数多く見出だせるものの、共通の問題は映像の画像と音声の質の低さにある。これが21世紀を生きる我々の鑑賞に耐えるか否かは疑問が残る。その意味では、日本語字幕を備え高画質のものが市販されている場合には、そちらを新規購入するのが最良の策と考えられる。市場に出回っておらず、かつ芸術的価値の高いDVDについては本コレクションの中のもの参照することが可能である。

DVD No 1

タイトル *Ti ho sposato per allegria* 愉快だから君と結婚したのさ

ジャンル 演劇

制作年 不明

作者=発案者 ナタリア・ギンズブルグ

編者=監督 演出 カルロ・パッティストーニ 美術 マリアーノ・メル  
カーリ  
衣装 アンジェロ・ポーリ  
出演 ジュリア・ラッザリーニ (ジュリアーナ)  
ジャンピエーロ・ピアンキ (ビエートロ)  
マリア・キアラ・マッツァーリ (家政婦ヴィットア)  
デリア・バルトルッチ (ビエートロの母)  
ガブリエラ・フランキーニ (ビエートロの妹ジネストラ)

上映時間 1時間27分

入カ日 2015/02/16

内容 主人公ジュリアーナは、弁護士ビエートロの妻として裕福な生活を送っている。しかし、生まれは貧しく、それゆえに最初に愛した男から捨てられる。妊娠と中絶、その後にパーティで知り合った現在の夫と、お互いに軽い気持で結婚した。ジュリアーナは、今までの人生を家政婦のヴィットリアに物語り、夫と何気ない会話をする。やがて夫の母と妹が食事にやってくるが、姑は教会で結婚式を挙げなかったことを非難するなど、好きなことを喋りまくる。

解説 「マンゾーニ家の人々」「ある家族の会話」などの小説で日本でも知られるナタリア・ギンズブルグの数少ない戯曲である。60年代のブルジョア家庭の室内で交わされる少人数のコミカルな会話の中から、どことなく噛み合わない空虚な人間関係が浮かび上がってくる。主演のジュリア・ラッザリーニは、ミラノ・ピッコロ座で、ジョルジョ・ストレーレル演出の舞台に数多く出演した女優である。

DVD No 2

タイトル *Tra vestiti che ballano* 踊る衣装の間で

ジャンル 演劇

制作年 不明

作者=発案者 ビエル・マリーア・ロツツ・ディ・サン・セコンド

編者=監督 演出 ジャコモ・コッリ  
衣装 M・テレーサ・パッレリー・ステッラ  
美術 トンマーゾ・パッサラクア 照明 セルジョ・ベッシ  
出演 アンドレイナ・パニャーニ (アンナ・オルローヴァ)  
アウグスト・マストラントーニ (ニコラ) エレナ・  
ダ・ヴェネツィア (偽のアンナ) カルロ・ダンジェロ  
(判事) 他

上映時間 1時間37分

入カ日 2015/02/17

内容 革命の中で娘を失い、イタリアに亡命したロシアの皇女アンナ・オルローヴァはファッション・デザイナーとして成功している。彼女の周囲では、イタリアのブルジョア社会の虚飾が展開される。ある日、かつての執事ニコラが現われ、残された宝石を届けて直後に自ら命を絶つ。その噂が広がり、やがて真の皇女アンナ・オルローヴァを名乗る女が現われる。それは、死んだ娘の乳母で、狂って詐欺師に唆されたのであった。密かに彼女の許を訪れたアンナが昔語りをする、乳母は正気を取り戻すのだった。

解説 シチリア生まれのロツツ・ディ・サン・セコンド (1887~1956) は、戦前から戦後にかけて、いくつもの優れた戯曲を発表し、北部と南部、理性と情熱、人間と社会といった対立や軋轢の中に生きる近代人の内面や孤独を描き、ピランデッロにも高く評価された。主演のアンドレイナ・パニャーニは、戦前から活躍している女優で、ゴルドーニ、ピランデッロ、ジャン・コクトー、バーナード・ショーなどの作品で演技を見せた。その美貌と気品や陰影のある演技は、本作品の皇女アンナにぴったりである。

DVD No 3

タイトル Due dozzine di rose scarlatte 24本の真紅の薔薇

ジャンル 演劇

制作年 1956年

作者=発案者 アルド・デ・ベネデッティ

編者=監督 演出 アルベルト・ガリアルデッリ

出演 カルラ・デル・ポッジョ (マリーナ・ヴェレーニ)  
ジャンニ・サントウッチョ (アルベルト・ペラーニ)  
ウンベルト・メルナーティ (トンマーゾ・サヴェッリ)  
リユー・ボジージョ (家政婦ロジーナ)

上映時間 1時間43分

入力日 2015/02/17

内容 妻のマリーナが旅行に行くことになったので、その間にある伯爵夫人とのアヴァンチュールを楽しもうと、アルベルトは24本の真紅の薔薇を注文し、友人のトンマーゾにロマンチックなカードを書かせ、「謎の男」と署名させる。ところが、目を離した隙に帰宅したマリーナがそれを見つけ、自分に宛てたもののだと思い、夫には自分で買ったとごまかす。これに付け込んで妻をからかおうと、夫は毎日薔薇とカードを届けさせる。しかし「謎の男」に本気で恋をしているような妻の態度に次第に不信を募らせ、密会の約束をさせた上で、裏切りを詰って別れようとする。思わぬ事態の共犯者になってしまったトンマーゾは、薔薇の贈り主は自分だと名乗る。マリーナは自分がからかわれていたことを悟り、夫と和解する。

解説 大戦間に流行した、ブルジョワ喜劇の代表作。戦後も度々上演されている。1936年に俳優として初演したのはヴィットリオ・デシーカで、1940年には映画化され、デシーカの監督デビュー作となる。

DVD No 4

タイトル L'inquisizione 異端審問

ジャンル 演劇

制作年 不明

作者=発案者 ディエーゴ・ファブプリ

編者=監督 演出 オッターヴィオ・スバダーロ

出演 トゥーリ・フェーロ (修道院長) ナンド・ガッツォーロ (レナート) ミーラ・ヴァンヌッチ (アンジェラ) パオロ・フェラーリ (ドン・セルジョ)

上映時間 1時間49分

入力日 2015/02/18

内容 舞台は中世ではなく、現代のある修道院と、その近くにあるホテルの一室である。4人の登場人物が、組み合わせを変えながら2人ずつ会話をするこことによって劇は進行する。その中で、少しずつ過去に起こった出来事や、各人が抱える内面の問題が明らかになってくる。アンジェラの夫レナートは、法学の教授だが、突然すべてを捨てて聖職者になると言い出し、アンジェラは自殺未遂を起こす。修道院長は堅固な信仰心を持つが、その言葉はアンジェラや信仰に疑念を抱く助任司祭ドン・セルジョの心に届かない。セルジョはついに聖職を辞する決心を固め、レナートもまた当初の志を翻す。最後に4人が揃った場面で、自殺未遂の真相が明らかになり、3人はそれぞれに不信を露にするが、院長はひたすら信仰を説く。

解説 ディエーゴ・ファブプリ (1911~1980) は、戦後イタリアを代表する劇作家の一人で、数多くの戯曲の他に、デ・シーカ、ロッセッリーニ、アントニオーニなどに提供した多くのシナリオも残した。宗教やモラルの問題に正面から取り組んだことで知られ、1946年に発表された本作も、そうしたテーマを持つ代表作の一つである。

DVD No 5,6

タイトル Amleto ハムレット

内容 シェイクスピア「ハムレット」の、かなり原作に忠実な翻訳上演である。

ジャンル 演劇

制作年 不明

作者=発案者 ウィリアム・シェイクスピア

編者=監督 演出 ヴィットリオ・ガスマン 音楽 ジュゼッペ・ピッ  
チョーリ  
美術 マリアーノ・メルクーリ  
出演 ヴィットリオ・ガスマン (ハムレット) メーモ・ベ  
ナッシ (クローディアス) アウグスト・マストラ  
トニ (ポローニウス) ジュリオ・ボゼッティ (ホレ  
イシヨウ) アンナ・マリア・フェレーロ (オフィーリ  
ア) 他

解説 イタリアの作品ではないため、資料的価値はあまりないが、名優ヴィットリ  
オ・ガスマンの若き日の演技がたっぷりと見られる。演出はオーソドックス  
で、ローレンス・オリヴィエ版を思わせる点も見られる。

上映時間 1時間14分 1時間25分

入力日 2015/02/18

DVD No 7

タイトル L'avventura di un povero cristiano 貧しいキリスト教徒の冒  
険

内容 敬虔な修道士ビエトロがケレスティヌス5世としてローマ教皇となり、様々  
な軋轢に苦しんだ末、わずか5カ月にして自ら退位し、隠棲した後は後任のボ  
ニファティウス8世に迫害され病死するまでの1年ほどの出来事を描き、個人  
の信仰と教会組織や民衆との関係を問う作品。

ジャンル 演劇

制作年 不明

作者=発案者 イニャツィオ・シローネ

編者=監督 演出 オッターヴィオ・スバダーロ  
出演 リッカルド・クッチョッラ (ビエトロ 後のチェレス  
ティエノ5世) 他

解説 著名な小説家であり、イタリア共産党創立者の一人としても知られるイニャ  
ツィオ・シローネ (1900-1978) の戯曲としての代表作。

上映時間 1時間41分

入力日 2015/02/18



DVD No 8, 9

タイトル La figlia di Jorio イオリオの娘

ジャンル 演劇

制作年 不明

作者=発案者 ガブリエーレ・ダンヌンツィオ

編者=監督 演出 シルヴェリオ・ブラージ

美術・衣装 ジャンニ・ボルドーリ

音楽 ブルーノ・ニコライ

出演 ジュゼッペ・バルンビエーリ (アリージ) ロルダー  
ノ・ルービ (ラザロ) エリザベッタ・カルタ (オル  
ネッタ) エドモンダ・アルディーニ (ミーラ)

上映時間 1時間17分 49分

入力日 2015/02/18

内容 結婚を目前に控えた羊飼いのアリージは、男達に追われるミーラをかくまう。彼女は魔術師イオリオの娘と呼ばれ、自身も魔女と恐れられ蔑まれる娼婦だったが、異様な情欲に駆られたアリージは、ミーラと共に山に籠ってしまう。アリージの父ラザロもまた、欲望に突き動かされ、二人の隠れ家に侵入してミーラを犯そうとする。彼女を守ろうとしたアリージは、父親殺しの罪で死刑に処せられることになる。しかし、ミーラは自分がラザロを殺し、魔術でアリージを幻惑したと皆を信じさせ、身代わりとなって火刑に処せられる。ただ一人真実を知るアリージの妹のオルネッタは、ミーラの足元にロブつける。

解説 ダンヌンツィオの戯曲の中で、「聖セバスチアンの殉教」と並ぶ代表作とされる。特に出身地アブルツォの伝説や風俗を取り入れて幻想的で詩的な舞台を作り上げ、愛の犠牲と浄化というテーマを象徴的に描き出しているのが特徴である。

DVD No 10, 11

タイトル Un marziano a Roma ローマの火星人

ジャンル 演劇

制作年 1983年

作者=発案者 エンニオ・フライアーノ

編者=監督 演出 ブルーノ・ラージア アントニオ・サリーネス

出演 アントニオ・サリーネス (火星人クント) 他

上映時間 1時間1分 1時間49分

入力日 2015/02/18

内容 火星人クントは、宇宙船に乗ってローマのボルゲーゼ公演近くに着陸する。たちまち大騒ぎとなり、クントは人々に追いかけてまわされ、ついにはヴァティカンで法王に謁見する。しかし、やがて人々は飽き始めクントを無視するようになる。孤独に苛まれたクントは地球を去ることになる。

解説 1960年に発表された喜劇を、テレビ化したもの。

DVD No 12

タイトル I civitoti in pretura 裁判所のチヴィタ人たち

ジャンル 方言演劇 (シチリア)

制作年 不明

作者=発案者 ニーノ・マルトーリオ

編者=監督 演出 カルロ・ディ・ステーフアノ  
ジュゼッペ・パッタヴィーナ (マルシラーラ) マ  
リオ・シレッティ (裁判官) マリア・ボスコ  
(チッカ) トウッチョ・ムスメーチ (ラーバ)

上映時間 48分

入力日 2015/02/18

内容 世紀末のシチリアのチヴィタという町が舞台。マルシラーラは、同郷人をナイフで刺した罪で告発されたマルシラーラの裁判を軸に、物語は展開する。証人のチッカはマルシラーラの報復を恐れて、北部出身の裁判官と言葉が通じにくいを利用して、真相を語ろうとしない。次の証人ラーバは正直な男だが、生真面目すぎて話が要領を得ない。果てには証人たちが喧嘩を始め、公判は中止となる。

解説 世紀末から20世紀初頭にかけて、シチリア方言演劇を一躍有名にした立役者の一人、マルトーリオのシチリア方言劇。笑劇の範疇にとどまりながらも、北部出身の裁判官とシチリア人特有のメンタリティを持つ証人とのコミュニケーション不全という、後のピランデッロを思わせる場面が興味深い。

DVD No 13

タイトル

ジャンル

制作年

作者=発案者

編者=監督

上映時間 1時間20分

入力日 2015/02/21

内容

解説 \*冒頭部分が切れているほかの理由により、情報を集めることが極めて困難。リスト作成不可能。

DVD No 14

タイトル Se no i xe mati no li volemo 正気の方、お断り

ジャンル 方言演劇 (ヴェネト)

制作年 1966年

作者=発案者 ジーノ・ロッカ

編者=監督 演出 カルロ・ロドヴィーチ  
チェスコ・パセッジョ (モーミ) セルジョ・ト  
ファーノ (ピエロ) ジーノ・カヴァリエーリ (バ  
ルトロ)

内容 ヴェネツィアとパドヴァの間に位置する地方都市。ある貴族が死に際して、慈善団体に寄贈した屋敷が舞台。同屋敷の使用権は、生前貴族と放蕩生活を送り、「正気の方、お断り」というサークルを作った9人に当てられている。そのうち3人が存命中だが既に老年に差し掛かり、静かに暮らしている。そこへ弁護士がやって来て、遺言によれば、放蕩生活を送らない者には、屋敷の使用権が認められないという。3人は若い頃のようにハチャメチャな生活を再び送ろうとするが、体がついていかず、命を落とす者、正気を失う者など、笑劇は悲劇的な結末を迎える。

解説 世紀ヴェネト方言演劇を代表するジーノ・ロッカの傑作。1941年には映画化されヒットした。

上映時間 1時40分

入力日 2015/02/21

DVD No 15, 16, 17

タイトル Li nepute de lu sinneco 市長の姪と甥

ジャンル 方言演劇 (ナポリ)

制作年 1975年

作者=発案者 エドゥアルド・スカルベッタ

編者=監督 演出・主演 エドゥアルド・デ・フィリップほか

内容 ボツァーノの市長チッチョ・ショシヤンモッカにはフェリーチェとシルヴィアという甥と姪がいる。フェリーチェはミラノで学生生活を送っていたのだが、ナンニーナにキスをしたために、その兄に追いかけられたために。女装をしている。シルヴィアは恋人アキッレを追いかけて、寄宿学校を飛び出してしまい、男装をしている。周囲は二人を逆に取り違えてしまい、そこからさまざまな誤解が生じるが、最終的には解決し、叔父の了承のもと、フェリーチェはナンニーナと、シルヴィアはアキッレと、それぞれ結婚する。

解説 世紀ナポリ方言演劇を代表する劇作家兼俳優エドゥアルド・スカルベッタの代表作を、彼の私生児エドゥアルド・デ・フィリップが演出・主演。19世紀の古い喜劇が、デ・フィリップの現代的なセンスを得て、新作喜劇として甦っている。  
\*15は第一幕、16は第二幕、17は第三幕。

上映時間 220564638

入力日 2015/02/21

DVD No 18

タイトル Pignasecca e Pignaverde ケチとしみつたれ

ジャンル イタリア演劇

制作年 1957年

作者=発案者 エメリコ・ヴァレンティネッティ

編者=監督 演出・主演 ジルベルト・ゴーヴィ演出・主演

内容 フェリーチェは娘のアマーリアと従兄弟のアレッサンドロを結婚させようとしている。だがアマーリアは、アメリカへ出稼ぎに行った近所のエウジェニオを今も思い続けている。アマーリアとアレッサンドロの婚約が決まりかけた時に、アルゼンチンで成功したエウジェニオがイタリアに帰国してくる。彼はアマーリアとの結婚を認めてくれるよう、フェリーチェに頭を下げるが、フェリーチェは取り合わない。娘がアルゼンチンに行ってしまうのが耐えられないのだ。ところがエウジェニオの上司マニエルが、エウジェニオをイタリアに残すことを伝えると、フェリーチェは二人の結婚を承認する。

解説 名優ゴーヴィの熟演が見どころ。

上映時間 1時間40分

入力日 2015/02/21

DVD No 19

タイトル Miseria e Nobiltà 貧困と高貴

ジャンル 喜劇映画

制作年 1954年

作者=発案者 エドゥアルド・スカルベッタ

編者=監督 監督 マリオ・マットーリ  
出演 トト（ドン・フェリーチェ） ソフィア・ローレン  
（ジェンマ）

内容 ナポリの貧乏人フェリーチェは、息子のベッペニエッロ、愛人のルイゼッタ、友人のバスタワーレ、その妻コンチェッタ、その娘ペベラと暮らしている。ある日、友人である侯爵の子息エウジェニオが、両親のふりをして恋人ジェンマの父親と会ってくれるよう頼まれる。ジェンマはバレリーナでその父親も成金であるため、両親に反対されているのだ。こうして貧乏人のフェリーチェたちは貴族に成り代わって、珍騒動を繰り広げる。

解説 世紀の劇作家スカルベッタの代表作の映画版。トトの破壊的な演技は伝説的。若きソフィア・ローレンの美しさも必見。

上映時間 1時間35分

入力日 2015/02/21

DVD No 20, 21, 22

タイトル Il medico dei pazzi 気違いたちの医者

ジャンル 方言演劇 (ナポリ)

制作年 1959年

作者=発案者 エドゥアルド・スカルベッタ

編者=監督 演出・主演 エドゥアルド・デ・フィリッポ

上映時間 217574634

入力日 2015/02/21

内容 ロッカセッカの市長として悠々自適に暮らしているフェリーチェには、チッチロという甥がいた。彼は叔父からの仕送りを受けて、ナポリで怠惰な学生生活を送っていたのだが、その叔父から多額の金銭を引き出すために、今では精神科の医者となり、自分の病院を経営していると嘘をついている。その叔父がナポリにやってくる。チッチロは自分が暮らしている安下宿を精神病院と偽って、奇妙な隣人たちを患者として紹介する。誤解と珍騒動が錯綜しながら物語は展開し、最後に全てを知ったフェリーチェは甥を許し、本当の医師になるためしっかり勉強するよう諭して、ナポリを後にする。

解説 名優エドゥアルド・デ・フィリッポが父スカルベッタの劇を演じている。とりわけ同喜劇は、後のデ・フィリッポの戯曲に大きな影響を与えている。  
\*20は第一幕、21は第二幕、22は第三幕。

DVD No 23

タイトル Non ti pago! お前には払わない!

ジャンル 方言演劇 (ナポリ)

制作年 1964年

作者=発案者 エドゥアルド・デ・フィリッポ

編者=監督 演出・主演 エドゥアルド・デ・フィリッポ

上映時間 1時間52分

入力日 2015/02/21

内容 フェルディナンドはナポリで宝くじ店を経営し、毎週宝くじを買うのだが、当たったためしがない。一方、店の従業員のマリオは当たりに当たって、ついに大金を当てる。彼が気に食わないフェルディナンドは、その当選は自分のものだ、当選券を取り上げる。最終的にはマリオに券を渡すのだが、死んだ父親に「この当選券が本当は俺のものだっていうのなら、奴に呪いをかけてやってくれ」と語りかける。その日からマリオは災難に見舞われ、ついにフェルディナンドに券を渡して、呪いを取り下げてくれるようお願い出る。マリオを愛している娘の涙を見たフェルディナンドは、ついに観念してマリオと和解する。

解説 宝くじ狂や死者との交信など、ナポリの民衆文化を理解する上では欠かせない要素が数多く紹介されている。

DVD No 24

タイトル Filumena Marturano フィルメーナ・マルトゥラーノ

ジャンル 方言演劇 (ナポリ)

制作年 1962年

作者=発案者 エドゥアルド・デ・フィリッポ

編者=監督 演出・主演 エドゥアルド・デ・フィリッポ  
レジーナ・ピアンキ

上映時間 1時間40分

入力日 2015/02/21

**内容** 元結婚のフィルメーナは、菓子店経営のドメニコの愛人を25年続けてきたが、ドメニコに若い愛人が出来たため、追い出されようとしている。フィルメーナは瀕死の重病を装って、見事妻の座に収まる。ところが弁護士に結婚は無効だと言われ、フィルメーナはドメニコの家を後にすることになる。彼女は去り際に、息子が三人いて、そのうちの一人はドメニコの子供だと言う。その日からドメニコは息子のことが気になりだし、最終的にはフィルメーナと結婚して、三人とも自分の子供として認知し、新しい家族が誕生する。

**解説** デ・フィリッポの最高傑作として名高い戯曲。イタリア語とナポリ方言が混じり合い、方言もまた、階級や教養に応じて、様々なレベルで使い分けられている。1964年にヴィットリオ・デ・シーカが、マストロヤンニとソフィア・ローレンを使って映画化している（邦題は『あゝ結婚』）。

DVD No 25

タイトル L'Arte della commedia 喜劇の流儀

ジャンル 方言演劇 (ナポリ)

制作年 1976年

作者=発案者 エドゥアルド・デ・フィリッポ

編者=監督 演出・主演 エドゥアルド・デ・フィリッポ

上映時間 2時間

入力日 2015/02/21

**内容** 地方都市を巡業する劇団の座長カンペーゼは、新しく赴任してきた県知事に面談を申し出る。可動式の舞台が火事で焼失したため公演がままならず、客を呼ぶためにも県知事が芝居を見に来てもらいたいというのが彼の希望だ。ところが県知事はその依頼を拒否し、別の町で公演するよう、旅費を支給しようとする。県知事は立ち去るカンペーゼに、旅費免除の書類を渡すつもりが、本日の面談者のリストを渡してしまう。次々と登場する面談者が、果たして本当の市民なのか、それともカンペーゼの劇団員なのか、県知事は猜疑心に捕らわれる。薬剤師のピーカが目の前で服毒自殺をしたところで、カンペーゼが面談者リストを持って再登場。この自殺も茶番だろうと怒鳴る県知事に、カンペーゼは、今に警官が来るでしょうが、劇団の衣装には警察官のそれもあると一言残して退場する。

**解説** ナポリというコンテキストから離れ、デ・フィリッポの演劇論が全面に出された戯曲。

DVD No 26

タイトル La grande magia 大魔術

ジャンル 方言演劇 (ナポリ)

制作年 1964年

作者=発案者 エドゥアルド・デ・フィリッポ

編者=監督 演出・主演 エドゥアルド・デ・フィリッポ

上映時間 1時間54分

入力日 2015/02/21

内容 嫉妬深いそれを自認していないカロージェロに愛想をつかした妻のマルタには愛人がいる。滞在先のホテルで、愛人とのひと時を楽しみたいマルタは、そこでマジックショーをしていたマルヴェーリヤと話をつけて、箱の中に入ってその場を抜け出す。ところが「ひと時」だったはずの逢瀬が、駆け落ちになってしまう。マルヴェーリヤは妻を出せと迫るカロージェロに、小さな箱を示して、妻を信じているならば、この箱を開けると妻は帰ってくる。ところが少しでも疑いがあれば、もう戻って来られないという。カロージェロは大事にその箱を抱えて開けることなく、四年の歳月が過ぎた。愛人に捨てられたマルタは夫の元に帰ってきたが、カロージェロはそれを幻影だと言い、箱を開けることを拒む。

解説 ビランデッロのすぎるとして長く上演されなかったが、1984年にストレーレルが上演し、再評価された。

DVD No 27, 28

タイトル Uomo e galantuomo 男と紳士と

ジャンル 方言演劇 (ナポリ)

制作年 1975年

作者=発案者 エドゥアルド・デ・フィリッポ

編者=監督 演出・主演 エドゥアルド・デ・フィリッポ

上映時間 2時間31分(68分/83分)

入力日 2015/02/21

内容 裕福な若者アルベルトと、その友人で劇団の座長ジェンナーロの、それぞれのエピソードが混じり合いながら物語は展開する。アルベルトは恋人のビーチェから、妊娠をしたため、もう会えないと言われた。彼は何とかしてビーチェの家を突き止め中に入り、彼女と結婚をしたいと申し出る。ところがビーチェは既婚者で、そこは彼女が夫と暮らす家だったのだ。アルベルトはジェンナーロの助けを借りて、気遣いのふりをしてその場を後にしようとする。そこへビーチェの夫の伯爵から、本当に精神病院に行くことで浮気された夫の体面を保つか、あるいは銃で撃たれるかどちらかを「紳士らしく」選ぶように迫られる。ところが伯爵もまた既婚者と浮気をしていたことがビーチェに知られると、気遣いのふりをして退場。アルベルトとジェンナーロはようやく解放される。

解説 劇作家デ・フィリッポの記念すべき最初の長編戯曲。リアリズム性の高い劇中劇など、後のデ・フィリッポ劇の特色が濃厚に見られる。

DVD No 29, 30, 31

タイトル Il sindaco del Rione Sanità サニタ地区の顔役

ジャンル 方言演劇 (ナポリ)

制作年 1964年

作者=発案者 エドゥアルド・デ・フィリップ

編者=監督 演出・主演 エドゥアルド・デ・フィリップ

**内容** ナポリの貧民街サニタ地区のドン・アントニオは、住民たちの揉め事や対立を取める「ボス」であった。法律が庶民を守ってくれないのなら、たとえ違法でも誰かが守るべき、というのが彼の理屈である。だが「やるか、やられるか」の対立は不幸の連鎖を生むと考え、復讐を厳禁している。35年間そんなボスに仕えてきた助手のファビオ医師は、この生活から足を洗い、アメリカに渡航しようとするが、ドン・アントニオは認めない。そんなある日、ラフィルッチョと、ハン屋を経営する比較的裕福なその父サンタニエッロの対立が激化する。父は新しい女を作り、息子を廃嫡したのだ。ラフィルッチョは「やるか、やられるか」の考えに凝り固まり、ドン・アントニオの言葉に耳を傾けようとしない。ドン・アントニオは息子に気を付けるよう助言すべく、サンタニエッロの家を尋ねるが、殺されるかと誤解したサンタニエッロにナイフで刺されてしまう。だがドン・アントニオは復讐しないことを決め、何事も無かったかのように食事を開き、親子を和解させて、息を引き取る。ファビオ医師はアメリカ行きを諦め、ドン・アントニオの遺志を継ぐ。

**解説** 2000年以降世界中で知られるようになった、ナポリのマフィアである「カモッラ」。その、かつての仁義に満ちた時代の終焉を描いた社会派劇。  
\*29は第一幕、30は第二幕、31は第三幕。

上映時間 233566037

入力日 2015/02/21

DVD No 32, 33

タイトル Gli esami non finiscono mai 試験は終わらない

ジャンル 方言演劇 (ナポリ)

制作年 1976年

作者=発案者 エドゥアルド・デ・フィリップ

編者=監督 演出・主演 エドゥアルド・デ・フィリップ

**内容** 青年グリエルモ・スベランツァは大学の卒業試験に合格したが、次は恋人のジリオラとの結婚を、彼女の両親に認めてもらう「試験」が待っていた。結婚の承認は得たものの、仕事でのキャリアという条件が課された。グリエルモは二人の子供を得て、仕事での成功も手に入れたが、幸せとはいえなかった。妻のジリオラは不実で愚かで、子供たちはそんな母親を信用し、父親を顧みない。友人のラ・スビーナはグリエルモに嫉妬し、彼を陥れようとする。中年になったグリエルモは心の安らぎを求めて、ボナーリアという貧しい娘と恋に落ちる。だがボナーリアは周囲の人間の悪意や悪口という「試験」を乗り越えられずに、グリエルモと別れることを決意する。老年になったグリエルモは病気を装い家に閉じこもり、誰とも口を奇行ときこうとしない。質素な葬式という彼の最後の願いも聞き入れられず、まるで祭のような派手な葬儀の中、この世を去る。

**解説** デ・フィリップ最後の戯曲。青年と中年と老年を、色違いの三種の髪を使うことで演じ分けている。  
\*32は第一幕、33は第二幕と第三幕。

上映時間 2時間53分(78分/95分)

入力日 2015/02/21



DVD No 34, 35

タイトル De Pretore Vincenzo デ・プレトーレ・ヴィンチェンツォ

ジャンル 方言演劇 (ナポリ)

制作年 1976年

作者=発案者 エドゥアルド・デ・フィリッポ

編者=監督 演出・主演 エドゥアルド・デ・フィリッポ

**内容** 私生児で身寄りもないヴィンチェンツォは、盗みをしながら日々の生計を立てていたが、自宅で逮捕され、刑務所に送られる。出所した彼を迎えた恋人のニヌッチャは、今後悪いことをしないよう、聖人の保護を受ければよいと諭す。ヴィンチェンツォは聖ヨハネを自分の守護聖人に運び、盗みが成功するとロウソクや花を買って、聖ヨハネ像に寄進するようになる。だがある日、大金を盗んだ彼に気づいた男が、ヴィンチェンツォを銃で撃つ。撃たれたヴィンチェンツォは、天国の門の前にいる夢を見る。彼を天国に入れようとしぬい聖ベテロ。だが聖ヨハネは自分の信者であるヴィンチェンツォを天国に招き入れる。文句を言うなら妻（聖母マリア）と息子（イエス）を連れて、別の場所に天国を作ると。夢から覚めるとヴィンチェンツォは病院のベッドにいて、それから間もなくして命を落とす。

**解説** イタリア全土で広く知られた民話を、現代のナポリに当てはめた寓話的な要素のある戯曲。

\* 34は第一部、35は第二部。

上映時間 2時間27分(73分/74分)

入力日 2015/02/21

DVD No 36, 37, 38

タイトル Natale in casa Cupiello クビエッロ家のクリスマス

ジャンル 方言演劇 (ナポリ)

制作年 1977年

作者=発案者 エドゥアルド・デ・フィリッポ

編者=監督 演出・主演 エドゥアルド・デ・フィリッポ

**内容** クビエッロ家の家長ルーカは、毎年クリスマスの前には、イエスの生誕をかたどった模型「プレセービオ」を作成する。彼はそこに理想の家族を見ているのだ。ところが現実の家族はひどいもので、嫁に行った娘のニヌッチャは不倫をし、家にいる息子のトシマジーノは、学校も仕事も長続きしないで遊び歩いている。クリスマス・イブの夜、そうとは知らずに、娘夫婦と娘の愛人を両方パーティに招いてしまい、両者が対立し、ついにルーカは見ないようにしてきた現実の家族を目の当たりにする。ショックのあまり卒中になったルーカは、プレセービオの幻影を追うようにして、この世を去る。

**解説** クリスマスになるとナポリでは、いたるところでこの劇が上演され、テレビでは毎年のように再放送されている。デ・フィリッポの戯曲の中でも、おそらく最もよく知られた作品。

\* 36は第一幕、37は第二幕、38は第三幕。

上映時間 212535029

入力日 2015/02/21

DVD No 39

タイトル Le voci di dentro 内なる声

ジャンル 方言演劇 (ナポリ)

制作年 1978年

作者=発案者 エドゥアルド・デ・フィリッポ

編者=監督 演出・主演 エドゥアルド・デ・フィリッポ

上映時間 1時間30分

入カ日 2015/02/21

**内容** アルベルトは弟カルロと、けてして喋らず花火で意志を伝えるニコラ叔父の三人で暮らしている。ある夜、隣のチンマルータの人々が、友人アニエッロを殺害して壁に埋めるという夢を見て、それを現実の事件と思い込み、警察に届け出る。チンマルータ家は家宅捜査され、一家は逮捕されるものの、死体は出てこないし、依然としてアニエッロは行方不明のままである。翌日、チンマルータ家の人々は、一人一人アルベルトのもとを訪れて、彼を懐柔しようとし、果てには本当に殺害しようとする者まで出てくる。そんな一家の中には、家族の他のメンバーに対する猜疑心が生じている。最後にアルベルトは、全ては夢だったことを告白するが、この「事件」のために、みんなが潜在的には本物の殺害者になってしまったと主張する。

**解説** 1948年発表の戯曲のスタジオ撮影版。言葉による会話を詰め、花火を使ってコミュニケーションをとるニコラ叔父は実に印象的。

DVD No 40

タイトル Berretto a sonagli 狂人の帽子

ジャンル 演劇

制作年 不明

作者=発案者 ルイージ・ビランデッロ

編者=監督 演出 エドモ・フェノーリオ  
美術 ルーチョ・ルチェンティエーニ  
照明 グイード・カラッチョーロ  
衣装 ヴェーラ・マルゾット  
出演 サルヴォ・ランドーネ (チャンバ)  
アニタ・ラウレンツィ (ベアトリーチェ・フィオーリーカ)  
シルヴィオ・スパッチェージ (警察署長代理スバノ)  
オリンピア・カヴリージ (チャンバの妻ニーナ)  
他

上映時間 1時間35分

入カ日 2015/02/21

**内容** シチリアの小さな町に住む高官フィオーリーカの妻ベアトリーチェは、夫とその部下である書記チャンバの妻ニーナとの不倫を知って逆上し、夫を告発すべく警察署長代理スバノを呼びつける。スバノは面倒を避けるためにベアトリーチェに翻意を促すが彼女は受け付けない。そこへチャンバがやってきて、事が公になれば、自分は名誉を守るために自ら妻を殺さなければならないと説く。しかし実際に夫が逮捕されるとベアトリーチェは後悔し事を収めようとするが、すでにスキャンダルは町の人々の知るところとなり、名誉を傷つけられたチャンバは納得せず、執拗にベアトリーチェを追い詰める。結局彼女は狂人に仕立てられ、鈴付きの帽子を被って人々の前で喚きたてるうち、実際に正気を失っていく。

**解説** ビランデッロの代表作の一つとして、現在でも上演されることが多い。彼の文学の基盤となったシチリアの因習的な社会と、上流階級の偽善性において、虚偽と真実、狂気と正気の境が曖昧となり、人間のアイデンティティが脅かされるという、他の作品において深く展開される作家固有のテーマが、シンプルな形で提示されている。この上演では、チャンバを演じる名優サルヴォ・ランドーネの演技が見ものである。

DVD No 41

タイトル L'uomo dal fiore in bocca 口許に花のある男

ジャンル 演劇

制作年 不明

作者=発案者 ルイーゼ・ピランデッロ

編者=監督 演出 マウリツィオ・スカバーロ  
美術 ジェリアーノ・トゥッリオ  
照明 フランコ・A・フェラーリ  
衣装 ヴェーラ・カローテヌート  
出演 ヴィットリオ・ガスマン (口許に花のある男)  
ジェンナーロ・ディ・ナポリ (カフェの客)

上映時間 23分

入力日 2015/02/21

内容 とある駅のカフェで行きずりの男が二人、会話している。しかしそれぞれの物の見方、考え方はずれていて、話は噛み合わない。最後に一方が秘密を打ち明ける。髭に隠れて見えないが、彼は口許に花のような腫瘍ができていて、あとわずかしかが命が残されていないという。それゆえ、彼には周囲の物事が普通の人は異なって見えるのだ。

解説 短い一幕の作品だが、真実の一つではなく、見る者によって変わってくるという、ピランデッロの基本的テーマが端的に示された佳作である。戦後イタリアを代表する名優、ヴィットリオ・ガスマンの演技が魅力的である。演出のマウリツィオ・スカバーロも、いくつもの劇場の芸術監督を務めるなど長く活躍した、イタリア演劇界を代表する一人である。

DVD No 42

タイトル Vestire gli ignudi 裸に服を着せる

ジャンル 演劇

制作年 1986年

作者=発案者 ルイーゼ・ピランデッロ

編者=監督 演出 ジャンカルロ・セーベ  
美術・衣装 パオロ・トンマーゾ  
音楽 ステファノ・マルクッチ  
出演 マリアンジェラ・メラート (エルシリア) ルイーゼ・  
ディベルティ (グロッチェ領事) ダニエーレ・グリッ  
ジョ (元海軍大尉フランコ・レスビーガ) 他

上映時間 1時間41分

入力日 2015/02/21

内容 イズミルの領事の家で家政婦をしているエルシリアは、婚約していた海軍士官に捨てられてしまう。それに付け込んだ領事は彼女と関係を結ぶが、エルシリアが目を見失った隙に領事の娘がテラスから転落して死んでしまう。領事の家を追われたエルシリアは自暴自棄になり、服毒自殺を図る。病院に運ばれ一命を取り留め、不幸な過去と決別するため、婚約者に捨てられて自殺しようとしたという身の上話を作り上げると、それが新聞に載って人々の同情を集める。これを知って彼女を捨てた士官は再び彼女の許に戻ってくるものの、領事との関係を知るに及んで彼女を非難する。今度は世間も彼女をふしだらな女と見なし、領事の娘の死に対する責任まで追及する。絶望したエルシリアは再び毒を仰ぐ。

解説 通俗的なメロドラマの体裁を取り、あまり知られていないピランデッロの商業演劇作家的手腕を見ることができる作品である。しかし、自らに何の価値も見出せない平凡な「裸」の人間が、他人の思惑によって勝手に「服」を着せられ、翻弄された人生を歩んだ末、最後には押しつけられた「服」に絶望するというテーマは、人間のアイデンティティや価値観の不確実性を鋭く描く他の代表作に通じるものと考えられる。主演のマリアンジェラ・メラートは、ダリオ・フォアの劇団を始め各地の舞台や映画で活躍した人気女優で、映画「流されて」で日本でも知られている。

DVD No 43

タイトル *L'uomo, la bestia e la viutù* 男、野獣、美德

ジャンル 演劇

制作年 不明

作者=発案者 ルイージ・ピランデッロ

編者=監督 演出 カロロ・チェッキ  
美術・衣装 セルジョ・トラモンディ  
衣装 ステファニア・ベネッリ  
出演 カロロ・チェッキ (パオリーノ) ラファエッラ・アジ  
ム (ベレツラ夫人) カロロ・モンニ (ベレツラ) 他

上映時間 1時間33分

入力日 2015/02/21

内容 パオリーノ教授(男)は立派な人物として通っているが、実は貞淑を装うベレツラ夫人(美德)と不倫をしている。彼女の夫(野獣)は船乗りで、ナポリに女を囲い、たまに帰宅しても全く妻を顧みない。そうこうするうちに夫人は妊娠してしまい、世間体を取り繕うためにも、子供は夫のものであるということにしなければならぬ。夫が航海に出る前に何とか妻と関係を持たせようと、パオリーノは編葉まで用意し、苦心惨憺の手立てを準備するが、事はなかなか思惑通りには運ばない。翌朝、首尾よく運んだという合図がないことに動転したパオリーノが必死で探りを入れる所へ、寝坊した夫人が悠々と姿を現わして事の成就を示す。

解説 外見と内面の不一致というピランデッロのテーマは一貫しているものの、笑劇的手法が非常に効果的に使われている異色作で、問題作ばかりではないピランデッロの幅広い作劇術を示している。イタリアでも人気があり、しばしば上演されている。

DVD No 44.45

タイトル *Sei personaggi in cerca d'autore* 作者を探す六人の登場人物

ジャンル 演劇

制作年 不明

作者=発案者 ルイージ・ピランデッロ

編者=監督 演出 ジョルジョ・デ・ルッロ  
美術 ビエル・ルイージ・ピッツィ  
出演 ロモロ・ヴァッリ (父) エルサ・アルバーニ (母) ロ  
セツラ・ファルク (娘) フェルッチョ・デ・チェレー  
ザ (演出家) 他

上映時間 1時間 1時間15分

入力日 2015/02/21

内容 とある劇場で、芝居のリハーサルが始まろうとしている。そこへ6人の人物がいつの間にか姿を現わす。部外者として追い出されようとするが、自分達は作者が途中で投げ出したために結末がつかずにさまよっている登場人物であると言いつつ。そしてその物語を完結させてくれと演出家に懇願する。身の上話の売り込みと想った演出家は、それでも興味を示し、彼らの語る物語を一座の役者たちに演じさせようとする。それに一々文句をつける6人の人物達との間に悶着が続くが、次第に彼らの状況が明らかになり、いつしかそこで展開しているのが、架空の話なのか現実なのか区別がつかなくなり、演出家や俳優達も引き込まれていく。6人は父と母、そして4人の子供たちなのだが、彼らの背後にある複雑で不幸な関係が次第に明らかになる。ついに決定的な場面にさしかかった所で、事態は意外な展開を遂げ、人物達は姿を消す。

解説 数多いピランデッロの戯曲の中でも最も有名で、最も上演頻度の高い作品とされるのみならず、近代演劇史上に重要な位置を占める作品である。「演劇」や「創作」という現象そのものをテーマとしたいいわゆるメタ・シアターの代表的な例であるとともに、ピランデッロの世界観を秀逸な方法で示したものとされる。この上演は、戦後イタリアの名優にして名演出家であるロモロ・ヴァッリを中心として、極めて正統的でレベルの高いものと評価されている。外国語および演劇の教材としても利用価値の高いものと思われる。

DVD No 46,47

タイトル *Così è, se vi pare* (あなたがそう思うならば) そのとおり

ジャンル 演劇

制作年 不明

作者=発案者 ルイーダ・ピランデッロ

編者=監督 演出 ジョルジョ・デ・ルッロ  
美術 ピエル・ルイーダ・ピッツィ  
出演 ロモロ・ヴァッリ (ラウディージ) パオロ・ストッパ  
(ボンザ) ロセッラ・ファルク (ボンザ夫人) リー  
ナ・モレリ (フローラ夫人) フェルッチョ・デ・  
チェレーザ (アガッツィ県会議員) エルサ・アルバー  
ニ (アマリア夫人) 他

上映時間 1時間4分 1時間9分

入力日 2015/02/21

内容 ある地方都市の上流階級のサロンで、最近赴任して来た書記ボンザの家庭のことが話題になっている。家族と言ってもは妻とその母であるフローラ夫人しかいないのだが、別々に家を借り、ボンザは姑の家に足繁く出入りするに、妻は町はずれの建物の最上階のアパートから一步も外出せず、母とも手紙のやり取りをするばかりである。どのような事情があるのかと人々が詮索する所へ、ボンザがやってきて説明する。それによると、フローラ夫人は死んだ先妻の母であるが、娘の死を受け入れられず、現在の妻を娘と信じ込んでいるのだという。しばらくすると今度はフローラ夫人が現われ、狂っているのはボンザの方で、事情があって一旦引き離された妻が戻ってきて、本人とは認めずに再婚したと言いつけるのだという。一家の暮らしていた村は地震で住人のほとんどが死に絶え、記録も残っていない。人々の疑念が募る中、ついにボンザ夫人が姿を現わすが、真相ははぐらかされたままで終わる。

解説 ピランデッロの代表作の一つであり、その世界観が最も端的に示された作品とされる。

作中に、上流階級の一員でありながら、彼らの好奇心を冷笑的に眺めるラウディージという人物が登場し、作者の分身のような役割を果たす。彼によって、真実は一つではなく、見る者によって異なるのだという劇全体のテーマが説明される。同時に閉鎖的・排他的でありながら、異なる他者に対する異常なほどの興味を示す狭い人間社会を風刺した風俗劇的側面も巧みに浮かび上がらせる。ラウディージを演じるロモロ・ヴァッリ、ボンザのパオロ・ストッパ、フローラ夫人のリーナ・モレリという、ルキーノ・ヴィスコンティの一座で数々の名舞台や映画を彩った名優が、適役で顔を揃えているのも貴重である。

DVD No 48

タイトル *La patente* 免許

ジャンル 演劇

制作年 不明

作者=発案者 ルイーダ・ピランデッロ

編者=監督 演出 ルイーダ・ザンバ  
出演 トト (キアルキアロ)

上映時間 14分(前半27分は「口許に花のある男」とその解説を収録)

入力日 2015/02/21

内容 ロザリオ・キアルキアロという男が、人を呪ったという罪で告発される。判事は、迷信に基づく不当な告発であるとして却下しようとする。事実、キアルキアロ(明明白白とでもいう意味)は、そのような噂によって職を失い、娘も結婚できないでいる。同時にまた、そうした評判によって、呪いを恐れる人々から何がしかの金を得ているという事実もある。実は、キアルキアロ自身が、告発を逆手に取り、裁判所の認可によって「呪い」の免許を得ようとするのである。裁判中に起こった不吉な出来事におびえる判事たちによって、もくろみ通り免許が与えられてしまう。

解説 笑劇的な手法を用いながら、人が世の中で生きる上で、望むと望まざるとに関わらず被らなければならない「仮面」の意味を問うピランデッロ的テーマを持つ作品である。そのグロテスクさを浮かび上がらせるには、主人公の軽妙さがむしろ効果的である。ナポリ喜劇の大スターで、数々の映画に出演し、圧倒的な人気と認知度があり、独特の演技を見せるトトは、まさに適役といえるだろう。

DVD No 49

タイトル **Maestri del cinema: Michelangelo Antonioni** 映画の巨匠：ミケランジェロ・アントニオーニ

ジャンル ドキュメンタリー／映画

制作年 不明

作者=発案者 ジョヴァンニ・パトロニー

編者=監督 編集 ジョヴァンニ・パトロニー

内容 映画監督アントニオーニの作品紹介に、インタビューを交えながら、彼の映画の魅力に迫る。

解説 アントニオーニ映画の名場面を味わうことができる。

上映時間 1時間30分

入力日 2015/02/21

DVD No 50, 51

タイトル **Mistero buffo** ミステーロ・ブッフオ

ジャンル 演劇

制作年 不明

作者=発案者 ダリオ・フォー

編者=監督 作・演出 ダリオ・フォー  
音楽 フィオレンツォ・カルピ  
照明 ジャンピエロ・ブリーティ  
出演 ダリオ・フォー フランカ・ラーメ

内容 空腹のアルレッキーノ、空飛ぶノルチャの聖ベネディクト、ラザロの復活、教皇ボンifaceティウス8世、フランスの下僕スカパン、イギリスの弁護士、十字架のマリア、カナの饗宴、ジョングルーールなどのエピソード（パロディ）が、解説とアドリブ入りで次々と演じられる。

解説 ミステーロとは、ミステールつまり中世聖史劇の意味であるが、ここにブッフオ（道化）がつくことによって、ダリオ・フォーの創作による独創的なパロディ劇となる。唯一、フォーの妻で演劇上のパートナーでもあった名女優フランカ・ラーメによって演じられる十字架のマリアや、ラザロの復活など、聖書に題材をとったものもあるが、内容は独自のものになっている。また、後半は中世の大道芸人（ジョングルーール）の演じた様々な芸を独自に再現したものが盛り込まれる。いずれの場面も風刺とオリジナリティあふれるものばかりで、長年にわたり様々な場面で演じられてきた。映像に見るように、装置や道具など全く使わない一人芝居であり、オープンな空間で観客との対話の中で繰り広げられる。それだけに即興性も高く、厳密には同じものは一つとしてないだろう。当意即妙のアドリブも魅力のうちである。とはいえ、ここにも見られるいくつもの練り上げられた基本形はフォーの18番といってもよいもので、何度見ても面白く、根強い人気を誇る。言葉も変幻自在で、古い方言やフランス語・英語のパロディなども登場し、イタリア人でもすべて聞き取ることはできないと言われる。しかし、わかりやすい説明と豊かな身体性に支えられて、常に見る者を惹きつけている。言葉を全く解さなくても、ライブの芸術としての演劇のエッセンスが十分に伝わってくるだろう。

上映時間 2時間37分 2時間19分

入力日 2015/02/21

DVD No	52	内容	1585年以降シクストゥス5世を筆頭とする歴代の教皇に招聘されてローマで活躍した数人の建築家によって、アヴィニョンに幽囚されて教皇が不在となったため14世紀以降荒廃していたローマはバロック美術の新しい顔を持つことになる。本編は、シクストゥス5世に重用されたドメニコ・フォンターナ(1543-1607)、インノケンティウス12世に仕えたカルロ・モデルノ(1556-1629)、ジャン・ロレンツォ・ベルニーニのライヴァル、フランチェスコ・ボルロミーニ(1599-1667)、ベルニーニと30年に亘って共同制作をした彫刻家アントニオ・ラッジ(通称ロンバルド1624-1686)らの作品を解説する。これらの作家達は総てスイスのティチーノ州からやってきており、この地方は数世紀にわたって優れた建築家や彫刻家を輩出した。彼らこそが現在へと続くローマの街の姿を作り上げたのである。
タイトル	I Magistri Ticinesi che hanno cambiato il volto di Roma 都市 ローマの姿を変えたティチーノ出身の建築家達		
ジャンル	美術史		
制作年	1997年		
作者=発案者	記載なし		
編者=監督	監修 ロレス・ピットーニ、ジャンルイージ・デ・ステーフア		
上映時間	25分	解説	単にそれぞれの作家のモノグラフィック的な総括をするのではなく、ティチーノ州の出身である点を強調することで、バロック美術を担った作家たちの別の側面が見えてくる。山間の寒村であるティチーノはそれ自体絢爛豪華な建物や彫刻を有しているわけではないが、イタリア諸国やフランスに至るまでの広い地域に中世から多くの石工や彫刻・建築家を送り込んできた。わが国ではあまり知られていないが、この事実を認識することはイタリアの彫刻・建築史を理解する上で重要である。カメラワークは、バロック期の建築や彫刻を我々の視線の高さから見せることによって、対抗宗教改革期の美術が持っていた人を巻き込むような視覚効果を体験できる。
入力日	2015/02/22		

DVD No	53	内容	イタリアを代表する美術館や建物、研究所から10の機関を選び、そこに収蔵される作品ばかりでなく、修復などの活動をオムニバス形式で紹介する。内容は貴石博物館(フィレンツェ)、ウッフィーツィ美術館(フィレンツェ)、スキファノイア宮殿(フェルラーラ)、図(トレント)、結婚の間(マントヴァ)、公の宮殿(シエナ)、ノルマン大聖堂(モンレアール)、テ宮殿(マントヴァ)、王宮礼拝堂(バレルモ)、トルナブオーニ家礼拝堂とブランカッチ家礼拝堂(フィレンツェ)である。
タイトル	Wonderland, Arte e città, Dieci gioielli dell'arte italiana 不 思議の国、美術と都市、イタリア美術の至宝10		
ジャンル	美術史		
制作年	不明		
作者=発案者	台本 マリアーノ・ミノーレ		
編者=監督	監督 ヴィットーリオ・アルメンターノ		
上映時間	1時間43分	解説	通常は見ることのできない貴石博物館内部の修復活動や、美術館、建物の内部を詳らかに見せてくれる点で、非常に興味深い映像である。後に出版されることになる優れたシリーズ『Mirabilia italiae(イタリアの奇跡)』の先駆的な役割も幾分担っていると思われる。しかしながら、映像と音声にかなりの難がある。
入力日	2015/02/22		

DVD No 54

タイトル La Cupola di Santa Maria del Fiore, Il cantiere del restauro  
花の聖母大聖堂大円蓋、修復現場1980-1995

ジャンル 美術史

制作年 1995年

作者=発案者 監督 ガブリエッラ・ラザーニ

編者=監督 制作 ドナテッラ・シッラ、ダニエレ・トンマーゾ

上映時間 20分

入力日 2015/02/22

内容 聖母に捧げられたフィレンツェの大聖堂は、1436年に建築家フィリップ・ブルネッレスキが建物を完成し、16世紀にジョルジョ・ヴァザーリとフェデリコ・ズッカリが円蓋フレスコを描き終えた。しかし、5世紀を超える経年変化に対応するため、修復が計画された。フレスコ画全体を覆うように足場が組まれ、1980年から1995年まで科学的調査に基づいて徹底的な修復が行われた。本編はその修復の記録である。最後に修復前と修復後の比較が行われている。

解説 大規模なフレスコ画や建物の修復がどのように行われるのかを詳しく見せてくれる。特に、オリジナルが欠けてしまった部分に、足場の上になっている者だけが見えるようにハッチングで彩色していく様など、普段は見られない修復の様子を見ることができる。足場のあるときにのみ撮影できた貴重なドキュメンタリーである。

DVD No 55

タイトル Dopo Caravaggio. Bartolomeo Manfredi e la manfrediana  
methodus カラヴァッジョ以後。バルトロメオ・マンフレ  
ディとマンフレディ方式

ジャンル 美術史

制作年 1988年

作者=発案者 監督 アルベルト・モレッリ

編者=監督 監修 ミーナ・グレゴリー他

上映時間 20分

入力日 2015/02/22

内容 ヴァイオリン製造で有名なクレモナ市は、カラヴァッジョの最も有名な追隨者の一人であるバルトロメオ・マンフレディ（1587-1620/21）とその周辺画家に光を当てた本編と同名の展覧会を1988年5月14日から6月16日まで同市のサンタ・マリア・デッラ・ビエタ聖堂を使って開催した。本編はその記録である。

解説 日本ではほとんど知られていないマンフレディの芸術を、おそらくローマで師事したであろうカラヴァッジョのそれと比較しながら、明らかにしていく。珍しい展覧会を追体験できるビデオである。



DVD No 56

タイトル Giorgio Morandi 1890/1990 Mostra del centenario ジョル  
ジョ・モランディ生誕100周年記念展1890/1990

ジャンル 美術史

制作年 1990年

作者=発案者 監督 パオロ・メルクーリオ、マッシモ・ガウディオオーソ

編者=監督 監修：シルヴィア・エヴァンジェリスティ

内容 セザンヌと同様に静物画を数多く描いたジョルジョ・モランディは生涯のほとんどもボローニャで過ごした。自らのアトリエの中にある静物や、彼のアトリエの窓から見える風景、彼が毎夏訪れたエミリア地方の風景を描いた。モランディは単なる写実でなく、写実の本質を描き出し、画面には彼独特の詩情が溢れている。

解説 本編はジョルジョ・モランディ（1890-1964）の生誕100周年を記念して、彼がアトリエを構えたボローニャ市の近代美術館で開催された展覧会の記録である。それは、ヨーロッパ最古の大学が開かれ、イタリアで一番知的な街と言われるボローニャが20世紀の巨匠に捧げた展覧会である。

上映時間 20分

入力日 2015/02/22

DVD No 57

タイトル Alberto Sotio: la croce dipinta del 1187 アルベルト・ソーテ  
オ：1187年制作の十字架

ジャンル ドキュメンタリー

制作年 1991年

作者=発案者

編者=監督

内容 本編は1187年に描かれたアルベルト・ソーテオの十字架の修復計画について紹介する。

解説 内容に加え映像と音の完成度が実に低く、この短いドキュメンタリーは鑑賞に値しない。

上映時間 15分

入力日 2015/02/22

DVD No 58

タイトル Il Gottardo dell'Umbria ウンブリアのゴッタルド

内容 本編は古い鉄道のスボレートからノルチャまでの線路の修復計画を紹介する。

ジャンル ドキュメンタリー

制作年 1990年

作者=発案者

編者=監督

解説 内容に加え映像と音の完成度が実に低く、この短いドキュメンタリーは鑑賞に値しない。

上映時間 14分

入力日 2015/02/22

DVD No 59

タイトル Il Duomo di Orvieto オルヴィエート大聖堂

内容 本編はオルヴィエート大聖堂のフレスコ画とガラス窓の修復計画を紹介したものである。

ジャンル ドキュメンタリー

制作年 1999年

作者=発案者

編者=監督

解説 内容に加え映像と音の完成度が実に低く、この短いドキュメンタリーは鑑賞に値しない。

上映時間 20分

入力日 2015/02/22

DVD No 60

タイトル I segni dell'uomo 男の印

内容 ヴァルネリーナの羊農場、農業、動物を紹介する。

ジャンル ドキュメンタリー

制作年 1992年

作者=発案者

編者=監督

解説 内容に加え映像と音の完成度が実に低く、この短いドキュメンタリーは鑑賞に値しない。

上映時間 18分

入力日 2015/02/22

DVD No 61

タイトル La roccia che vive 生きている岩

内容 本編はチェレート自然を紹介する。

ジャンル ドキュメンタリー

制作年 1992年

作者=発案者

編者=監督

解説 内容に加え映像と音の完成度が実に低く、この短いドキュメンタリーは鑑賞に値しない。

上映時間 20分

入力日 2015/02/22

DVD No 62

タイトル Giotto ジョット

ジャンル 美術史

制作年 1974年

作者=発案者 監督 アントニオ・モレッティ

編者=監督 台本 フェルディナンド・ボローニャ

上映時間 55分

入力日 2015/02/22

**内容** 本編は14世紀（トレチェント）イタリアにおける画家の最高峰であるジョット（1267? - 1337）の生涯と芸術上の経歴の重要な時期を扱う。画家が活動した社会、文化、芸術の状況、所謂「工房」と弟子たちがいかに彼の作品に関わったか、加えてフレスコ画の技法について説くと共に、アッシジのサン・フランチェスコ聖堂上院フレスコ画、パドヴァのスクロヴェーニ礼拝堂装飾、フィレンツェのサンタ・クロチエ聖堂フレスコ画、サン・フランチェスコ聖堂下院の敷地のフレスコ画、板絵作品などジョットの全ての作品を扱う。

**解説** ジョットの作品に関する優れたドキュメンタリーである。もちろん技術的な制約はあるが、肉眼では見えにくい高い位置の壁画なども至近距離から撮影されており、興味深いドキュメンタリーに仕上がっている。惜しむらくは、気負い過ぎた音楽が時々鑑賞を妨げる。

DVD No 63

タイトル La pittura senese del Trecento 14世紀（トレチェント）のシエナ絵画

ジャンル 美術史

制作年 1991年

作者=発案者 監督 ルーカ・ヴェルドーネ

編者=監督 監修 ジョルジョ・マスケルバ アンドレア・エミリアーニ  
アキッレ・ボニート・オリヴァ

上映時間 27分

入力日 2015/02/22

**内容** 13世紀末から14世紀半ばのシエナでは、西洋史上最も豊かで重要な画派の一つが花開いた。その原動力は、街の守護聖人である聖母マリアへの礼拝と商業・経済上の繁栄であった。最初に現れたのはドゥッチョ・ディ・ブオニンセーニャ（1255ca. - 1318/19）であり、彼の手になる《荘厳の聖母》は特に著名である。次いで、おそらくドゥッチョの弟子であったシモーネ・マルティエーニ（1284ca. - 1344）がバラツツォ・ブップリコの《荘厳の聖母》に見られるように同様のテーマを発展させた。シエナにまで及んだジョットの教えは、ピエトロ（1280/ 85 ca. - 1348?）とアンブロージョ（1285 - 1348?）のロレンツェッティ兄弟に独特な解釈者を見出す。しかし、ロレンツェッティ兄弟をも巻き込み、新大聖堂の素晴らしい計画を未完に終わらせた1348年の過酷なペストの後、シエナ画派は多くの画家達によって引き継がれたものの、彼らがそれ以前の作家達の高みに達することはなかった。

**解説** 本編は、ゴシック様式から国際ゴシック様式に至る時期にヨーロッパの中でも一つの極みに達したシエナの画派に関する優れた解説である。その当時の研究成果に基づき、ドゥッチョ・ディ・ブオニンセーニャから14世紀の画家たちまでの作品を美術史上にしっかりと位置づけている。特に、アヴィニョンに移された教皇庁で活躍し、国際ゴシック様式の基を作り上げたシモーネ・マルティエーニの事績については、詳しく述べられている。ナレーションは非常にわかりやすく、歴史的背景にも理解が及ぶよう解説されている。しかしながら、唯一の欠点は映像の質が悪く、今となっては古めかしく見えてしまうことである。

DVD No 64

タイトル Piero della Francesca ピエロ・デラ・フランチェスカ

ジャンル 美術史

制作年 1991年

作者=発案者 監督 ジュリアーノ・ベトレッリ

編者=監督 監修 ジョルジョ・マスケルバ アンドレア・エミリアーニ  
アキッレ・ボニート・オリヴァ

上映時間 30分

入力日 2015/02/22

**内容** 本編は、画家ピエロ・デラ・フランチェスカ（1415/20・1492）の生まれた街であるサンセポルクロとそこにある二つの作品、すなわち青年期から円熟期まで長いこと掛けて描かれた《慈悲の聖母》、および街の偉大な芸術的濃密を示す《キリストの復活》で幕を開ける。その後、彼の生涯の概要が語られ、形態上のタイプについて説明がなされ、ピエロの活動の中核をなすアレツツォ、サン・フランチェスコ聖堂の壁画サイクルが続く。ヤコブス・デ・ウォラギネの『聖十字架伝説』に発想を得たこのサイクルに関して、イコノロジーと様式の面から解釈がなされる。その後、彼の円熟期の数年、つまりウルビーノのフェデリーコ公爵との関係、およびウッフィーツィ美術館収蔵の二連祭壇画と《キリストの鞭打ち》の複雑な物語、そして《セネガリアの聖母》の诗情溢れる親密感について語られる。最後に話はサンセポルクロに戻り、画家の老年期と失明、そしてアメリカが発見されたのと同じ1492年10月12日に起こった彼の死で本編を閉じる。

**解説** 作品を至近距離から詳細に追うカメラワークが臨場感を見るものに与え、じっくりとした作品鑑賞を可能にする。特にアレツツォ、サン・フランチェスコ聖堂のフレスコ画サイクル『聖十字架伝説』がヤコブス・デ・ウォラギネの著作に基づき、場面ごとに丁寧に解説される。後ろに流れるナレーションの解説は具体的でわかりやすく、作品の理解を大いに助けてくれる。また、ウルビーノ公モンテフェルトロの下で活躍した時代の作品に関しても、マルケ地方のこの美しい街とその公爵邸を余すところなく見せ、鑑賞者の理解を助けている。本編は現在でも鑑賞に値するピエロ・デラ・フランチェスカに関する優れたモノグラフである。

DVD No 65

タイトル Masaccio La nascita dell'arte nuova マザッチョ、新しい芸術の誕生

ジャンル 美術史

制作年 1991年

作者=発案者 監督 グイド・グェルラージオ

編者=監督 監修 ジョルジョ・マスケルバ アンドレア・エミリアーニ  
アキッレ・ボニート・オリヴァ

上映時間 27分

入力日 2015/02/22

**内容** 本編は、15世紀（クワットロチェント）に新しい芸術の誕生に誰よりも貢献した画家マザッチョ（1401-1428）の、短くも濃密な様式展開を余すところなく示す。人文主義者たちの言説やブルネッレスキ、ドナテッロらの遠近法の革新的発明に刺激を受けた彼の芸術は、最初の重要な作品である《サン・ジョヴェナーレの三連祭壇画》から《ウッフィーツィの聖母》《ピサの二連祭壇画》まで、またフィレンツェ、ブランカッチ礼拝堂のフレスコ画の傑作からサンタ・マリア・ノヴェッラ聖堂の素晴らしい《聖三位一体》に至るまで、技術の上で革新的で魅力あるだけでなく、人間とその環境の自立に根本的に根差した一つの絵画の頂点に到達している。ブルネッレスキとドナテッロに続くイタリア・ルネサンス芸術の第3番目の偉大な革新者がマザッチョである。

**解説** その誕生から天逝によって断ち切られた短い生涯の中でマザッチョが残した作品を、時系列的に踏付けていく。ハイ・ヴィジョン映像に慣れた我々の眼には本編の画質は鮮明に映らないとしても、作品をなめるように見せるカメラワークと丁寧な解説は、本編をマザッチョに関する優れたモノグラフとしている。

DVD No 66

タイトル Domenico Beccafumi ドメニコ・ベッカファーミ

ジャンル 美術史

制作年 1991年

作者=発案者 監督 トンマーゾ・ダッツィ

編者=監督 監修 ジョルジョ・マスケルバ アンドレア・エミリアーニ  
アキッレ・ボニート・オリヴァ

上映時間 27分

入力日 2015/02/22

**内容** ドメニコ・メカリーノ、通称ベッカファーミ（1486 - 1551）は1486年頃シエナに生まれ、そこで1551年死んだ。このトスカナの街からほとんど離れることがなかったこの画家は、ベルギーノからラッファエッロ、ミケランジェロに至る古典主義的文化に影響を受けたが、自らの育った自然から受けた偉大な教えを忘れることは決してなかった。色彩画家として偉大な才能を持ち、「南イタリアのコルレッジョ」と呼ばれたソドマと競って活動を行なったベッカファーミのマニエリスムは、傑作の中に登場する人物たちにはしばしば幻想的な魅力を与える傾向にある。

**解説** ベッカファーミが描いた田園風景を現在の映像で見せる導入部は印象的である。1500年代の風景が今だにシエナ近郊に残っていることは驚きに値する。通常は肉眼で見づらい壁画上部などを至近距離から撮影し、じっくり見せてくれるのはありがたい。

DVD No 67

タイトル Lorenzo Lotto e gli spiriti inquieti ロレンツォ・ロットと不安な精神

ジャンル 美術史

制作年 1990年

作者=発案者 監督 グイド・グエルラージオ

編者=監督 監修 ジョルジョ・マスケルバ アンドレア・エミリアーニ  
アキッレ・ボニート・オリヴァ

上映時間 27分

入力日 2015/02/22

**内容** このドキュメンタリーは、偉大なヴェネツィア人画家ロレンツォ・ロット（1480-1556）の作品を彼の生きた環境と精神土壌と共に示す。貧困と放浪の中に身を置きつつも、異端審問や熾滅の予見に揺さぶられた時代の宗教的不安に非常に敏感であった画家は、大いなる色彩的魅力と物語叙述の革新を内包する様式で明確に信仰に裏打ちされた絵を描くことでそれに対抗した。本編で紹介・分析される傑作はそのことを証明している。以前はほとんど顧みられることがなかった祭壇画やフレスコ画、肖像画は、最近の批評によって16世紀（チンクエチェント）の大巨匠たちの高みに達すると認められている。

**解説** ロレンツォ・ロットというこの魅力溢れる画家の画業を、15世紀ヴェネツィアに棹さず初期から印象派を予感させる絶筆作品まで、余すところなく紹介する。画質に問題はあるものの、当時の撮影技術の粋を集め、研究成果に基づいて作成された本編は、現在でも鑑賞に値するロットの入門ビデオである。

DVD No 68

タイトル Tiziano ティツィアーノ

ジャンル 美術史

制作年 1991年

作者=発案者 監督 マヌエラ・ブルザケーキ

編者=監督 監修 ジョルジョ・マスケルバ アンドレア・エミリアーニ  
アキッレ・ボニート・オリヴァ

上映時間 27分

入力日 2015/02/22

内容 1490年頃にピエーヴェ・ディ・カドーレで生まれたティツィアーノ・ヴェ  
チェッリオ (1490ca.・1576) はヴェネト文化黄金期の中心的画家である。そ  
れと同時に彼はルネサンスの偉大な代表者でもあった。ジョルジョーネに代表  
される新しい時代の自然さからティツィアーノは貴重な教えを受け取るが、彼  
の芸術は古典的芸術、すなわちミケランジェロの偉大さやラッファエッロの甘  
美なる完璧を反映し、如何なる職人をも凌駕する構図に色彩を散りばめてい  
る。この芸術家は王侯貴族や皇帝、ローマ教皇たちのために仕事をし、栄光と  
名誉に満ちた長く多産な生涯を送った。1576年にヴェネツィアで没した。

解説 ドキュメンタリーは、夕暮れの大運河を背景に1576年のベストとそれによって  
没したティツィアーノが最後まで手を加えていた《ピエタ》(ヴェネツィア、  
アカデミア美術館所蔵)から話を始める。そして、自分を常に実年齢より年  
上に見せようとした画家の出生地ピエーヴェ・ディ・カドーレに話は戻り、次  
いでジョヴァンニ・ペッリニの工房で兄弟子ジョルジョーネと過ごした時期  
について語られる。同シリーズのビデオと異なり、ティツィアーノの作品だ  
けでなく、ヴェネツィアやピエーヴェの風景を差し挟むことで、画家の生きた  
時代を鮮明に浮き上がらせようとする。また、中期の傑作である《ダナエ》  
(ナポリ、カポディモンテ美術館所蔵)に対して年上のミケランジェロが加え  
た批判を紹介することも時代の息遣いを伝える。それは、彼の残した数多くの  
貴顕の肖像画を通じても理解できる。最後にティントレットやヴェロネーゼと  
いう次の世代の挑戦を受ける。  
ティツィアーノの生涯を余すところなく解説したドキュメンタリーである。

DVD No 69

タイトル Giulio Romano ジュリオ・ロマーノ

ジャンル 美術史

制作年 1991分

作者=発案者 監督 グイド・ゲルラージオ

編者=監督 監修 ジョルジョ・マスケルバ アンドレア・エミリアーニ  
アキッレ・ボニート・オリヴァ

上映時間 27分

入力日 2015/02/22

内容 ジュリオ・ピッピ、通称ジュリオ・ロマーノ (1499・1546) は1499年ローマ  
に生まれ、1546年マントヴァで没した。ラッファエッロの高弟であり、また美  
術において初の16世紀の「監督」でもあった。実際、建築や装飾、そして当然  
のことながら絵画に対する彼の好みは、16世紀の宮廷で要求されていたような  
劇場的スペクタクルにそれらを構成させるのである。

解説 本編も「ティツィアーノ」と同様、画家の作品ばかりでなく彼の生きた街の映  
像を差し挟むことで時代の動きを伝えようとする。ローマ生まれの(ロマー  
ノ)ジュリオと呼ばれたピッピはラッファエッロの工房で頭角を現し、マント  
ヴァ公爵フェデリコ・ゴンザーガに招聘され、宮廷画家として公爵邸とテ宮  
殿に多くの壁画を描いた。天井画を含むこれらのフレスコ画は通常の写真では  
理解が難しく、その配置や連続を余すところなく見せてくれる本編は貴重なド  
キュメンタリーである。

DVD No 70

タイトル Leonardo (1452 - 1519) e la sua cerchia レオナルドとその周辺

ジャンル 美術史

制作年 1978年

作者=発案者 監督 ステーファノ・ロンコロニー

編者=監督 監修 ジュリオ・カルロ・アルガン

内容 本編は確実にレオナルド・ダ・ヴィンチ (1452・1519) の作品とされるものを明らかにすることを目的とする。それらの作品はルネサンスの作品の持つ芸術的・技術的原則の真の展開を表現しているからである。帰属の不確実な作品には触れず、偉大な巨匠の作品に集中するが、それはレオナルドの技術の解明や、その哲学的思想の理解に到達しようとするためである。

上映時間 58分

解説 当時までの研究成果に基づいてレオナルドの確実な作品のみを扱っている点で本編は非常に興味深い。余りに良くない映像の画質が鑑賞者の意欲をそぐ。それでも、ヴェネツィア共和国に招聘された師のアンドレア・デル・ヴェルロッキオがサンティ・ジョヴァンニ・エ・パオロ広場に設計した《バルトロメオ・コッレオーニ騎馬像》(鑄造はアレッサンドロ・レオバルディ)へのレオナルドの参画や後ろ足で立つ《トリヴルツィオ騎馬像》の発案、著名な《最後の晩餐》(ミラノ、サンタ・マリア・デッレ・グラツィエ修道院食堂)の分析、および数々のデッサンに残された「醜さ」への着目など、興味深い話題を取り上げている。また、ミラノで形成されたレオナルド派の画家たちについても述べるが、彼らが師の作品の持つ深みと不安を表すヴェルヴェルに至らなかったと結論する。次いで、彼の影響がラッファエッロやアンドレア・デル・サルト、ヴェネツィア画派のジョヴァンニ・ペッリーニやティツィアーノ、ひいてはカラヴァッジョにまで見られることを論証する。

入力日 2015/02/22

DVD No 71

タイトル Federico Barocci: Il tramonto del Rinascimento フェデリコ・バロッチ:ルネサンスの日没

ジャンル 美術史

制作年 1990年

作者=発案者 監督 ファウスト・デローリオ

編者=監督 監修 ジョルジョ・マスケルバ アンドレア・エミリアーニ  
アキッレ・ボニート・オリヴァ

内容 フェデリコ・バロッチ(ウルビーノ、1535-1612) 本編は、有名なローマ短期滞在後に故郷ウルビーノに戻った偉大なイタリア画家に捧げられたものである。当時のウルビーノは社会経済的に地方都市の規模に達していたものの、文化的にはまだ成熟してはなかった。カトリック対抗宗教改革の絶頂期は、バロッチの沈黙の瞑想のお陰で絵画を通して社会構成(都市と近郊の無限の教会のbiblia pauperum)に決定的な貢献をなすあの「愛情の詩情」によって実際に最高潮を迎える。

上映時間 27分

解説 ヴァティカン宮殿内教皇ピオ4世の小屋の天井装飾に関わった後、故郷のウルビーノに戻って終生活動したバロッチの画業を、作品ばかりでなく活躍した街をも見せることで理解を深めようとする。彼が次の時代のポローニャ派の画家たちやカラヴァッジョらに道を開いたことを指摘する。ただ、映像の画質はかなり望むべきものがある。

入力日 2015/02/22



DVD No 72

タイトル La grande maniera: Bramante – Raffaello – Giulio Romano  
偉大なるマニエラ：ブラマンテ、ラッファエロ、ジュリオ・ロマーノ

ジャンル 美術史

制作年 1975年

作者=発案者 台本・監督 アントニオ・ペトルッチ

編者=監督 監修 D. レーディグ・デ・カンボス

上映時間 55分

入力日 2015/02/22

内容 本編はラッファエロの歴史上、芸術上のプロフィールを示し、イタリア美術の古典主義的時代におけるこの芸術家の重要性を強調する。加えて、ジュリオ・ロマーノの《コンスタンティヌスの間》、ブラマンテの重要な作品に関して語る。

解説 このビデオは、偉大な芸術都市ウルビーノから生まれたブラマンテ、ラッファエロ、ジュリオ・ロマーノという一つの芸術の流れを歴史的視点から追っている点で大局的で分かりやすい。その反面掘り下げが不十分な作品も散見される。しかし、重要な意義を持つ作品、例えばヴァチカン宮殿にラッファエロが制作した《署名の間》や《ヘリオドロスの間》などについては詳しい解説が加えられている。

DVD No 73

タイトル Il Manierismo a Roma ed in Emilia ローマとエミリア地方のマニエリスム

ジャンル 美術史

制作年 1989年

作者=発案者 監督 トンマーゾ・ダッツィ

編者=監督 監修 ジョルジョ・マスケルバ アンドレア・エミリアーニ  
アキッレ・ボニート・オリヴェア

上映時間 27分

入力日 2015/02/22

内容 マニエリスムは社会・宗教的危機と時期を一にする。1527年のローマ劫奪、1530年のフィレンツェ攻囲、対抗宗教改革の出現、これらは芸術家の心の中に決定的な喪失感を与える要因である。その喪失感とは、特にミケランジェロ、レオナルド、ラッファエロが到達した偉大さを超えることができないという考えに由来し、模範と判断された彼らはロッソ・フィオレンティーノ、ポントルモ、ベッカフーミアやその他「マニエラ」、つまり図像表現の独特な方法を持つ画家達に決定的な影響を与えたのである。

解説 政治的・宗教的危機の時代である16世紀に出現したマニエリスム芸術を歴史的文脈に着実に位置づけながら、多くの作家達の作品を紹介する。現在1506年の制作と考えられているミケランジェロ作《ドーナ家の丸板絵》（フィレンツェ、ウッフィーツィ美術館収蔵）に既に見られる、仮想上の軸を中心として回転する螺旋状の人体、所謂「フィグーラ・セルペンティナータ（蛇状曲線）」がマニエリスム、およびそれに続くバロック美術の基本的要素となることを正当に指摘した後に、盛期ルネサンスの他の主人公レオナルドやラッファエロについて述べる。彼らの様式を模範として成立したジュリオ・ロマーノやコルレッジョらの作品を数多く解説する。

DVD No 74

タイトル *Il Manierismo in Toscana* トスカナにおけるマニエリスム

ジャンル 美術史

制作年 1989年

作者=発案者 監督 トンマーゾ・ダッツィ

編者=監督 監修 ジョルジョ・マスケルバ アンドレア・エミリアーニ  
アキッレ・ボニート・オーヴァ

上映時間 27分

入力日 2015/02/22

**内容** ミケランジェロ、レオナルド、ラッファエッロの芸術はマニエリスムの誕生と発展にとって決定的といえるであろう。ミケランジェロはその作品の中で人物の倫理的偉大さを、厳粛な身振りとポーズの雄弁さを通じて表現した。その様式からマニエリスムが選択したいくつかの道を開くことになる変形とグロテスクな効果のための嗜好が生まれ出る。

マニエリスムの芸術家たちは、レオナルドからメランコリックな性向や、顔・身振りを照らし出す外から入り込む光を取り入れ、キアロスクーロと画面の雰囲気を作り裂く閃光の効果を生み出した。

ラッファエッロは演劇の舞台装置のような構図や空間処理に影響を与えた。それは人物の傾きや古典的建築、そして衣紋や人体を切り裂く光によって構成されるのである。

**解説** ミケランジェロやレオナルド、ラッファエッロなど盛期ルネサンスの巨匠たちを模範として、次の世代の作家達がどのように芸術を推し進めていったのかを具体例に基いてわかりやすく解説している。シエナ派の最後の巨匠ソドマ、公国、次いで大公国となったフィレンツェのメディチ家宮廷で活躍したブロンツィーノらの作品を取り上げて、それがミケランジェロらの作品のどこに由来するのかが示される。

DVD No 75

タイトル *Veneto tra acqua e terra* ヴェネト地方、水と大地の狭間で

ジャンル 文化史

制作年 1990年

作者=発案者 発案 チェーザレ・デ・ミケーリス教授（ヴェネト地方のマニエリスム）

編者=監督 監督 マリーナ・カッチョ

上映時間 25分

入力日 2015/02/22

**内容** ヴェネツィアを中心とするヴェネト地方は18世紀末まで「いとも晴朗なる共和国」と呼ばれたヴェネツィア共和国の領土であった。本編は、ヴェネツィアの有名な出版社の一つマルシーリオ社の主幹を勤めるチェーザレ・デ・ミケーリス教授のガイドで、この地方を「自然」「社会」「場所」に分けて紹介するものである。その中でヴェネツィアはもちろんのこと、パドヴァ、ヴィチエンツァ、ヴェローナ、トレヴィーゾなどの街を紹介する。（後半はRAIのテレビ放送の歴史を紹介する）

**解説** ヴェネト地方は魅力に溢れる地域であるが、それを分かりやすく紹介している興味深いドキュメンタリーである（後半は価値の低いビデオである）。

DVD No 76

タイトル Guido Reni グイド・レーニ

ジャンル 美術史

制作年 1988年

作者=発案者 監督 ファウスト・ダローリオ

編者=監督 監修 ジョルジョ・マスケルバ アンドレア・エミリアーニ  
アキッレ・ボニート・オリヴァ

上映時間 27分

入力日 2015/02/22

内容 グイド・レーニは1575年音楽家の息子としてボローニャに生まれ、1642年に没した。彼は魔法のように繊細な色彩で描かれた理想的な美しさを作品に追究した折衷的画家であった。本編は、主なフレスコ画作品や重要なタブロー画を扱うことで画家の人生を追うことを目指す。

解説 画家の生涯と作品を丁寧に追っている。通常は見られない素描なども加えながら、壁画作品を時代順に見せてくれる。ボローニャにおいてカルラッチ兄弟に影響を受けた初期から、ローマでの活躍までをしっかりと説明している。所々に映像の乱れがあるが、17世紀前半に最も人気のある画家の一人であったグイド・レーニの芸術活動を余すところなく示しているといえる。

DVD No 77

タイトル Natura e storia nell'età di Correggio e dei Carracci コルレ  
ジョとカルラッチ兄弟の時代における自然と歴史

ジャンル 美術史

制作年 1990年

作者=発案者 監督 ファウスト・ダローリオ

編者=監督 監修 ジョルジョ・マスケルバ アンドレア・エミリアーニ  
アキッレ・ボニート・オリヴァ

上映時間 27分

入力日 2015/02/22

内容 ボー川平原の、そしてコルレージョの個人的ルネサンスの「沈黙の」次元から出発して、カルラッチ兄弟の改革を貫く自然主義は、1550年頃に遠い起源を持つことが明らかである。それはバルミジャーノ、ドツツ・ドッシやニコロ・デッラバーテらのマニエリスムを通じて浸透し、新たな真実を見出す対抗宗教改革へと至る。教会組織、魔術から遠のいた科学、新たな時空への確信といったものは、新しい絵画の特徴である。アゴスティーノ、ルドヴィーコ、アンニーバレのカルラッチ兄弟はその青年期から2本の線に沿って動く。第1のラインは、ローマでのアンニーバレの活躍からアルドヴァンディのルネッタ作品（ドメニキョ、アルバーニとの共作）を通じて古典的風景画となる。そして第2のラインはもっと近くのボー川平原で、ルドヴィーコ・カルラッチに強い影響を与えた地域である。彼の大型の祭壇画では親密で偉大ではあるが、楽観的でも雄弁でも教訓的でもないバロックが表現される。それはグイド・レーニを通じてジュゼッペ・マリア・クレスピ、そして18世紀の視覚的自然主義へと至るのである。

解説 コルレージョはラッファエッロの芸術を基盤として出発するが、《サン・ジョヴァンニ礼拝堂天井画》には既にバロック美術の先駆が認められる。バルミジャーノの作品も通常は見られない天井画・壁画の細部にまでカメラが入り、その芸術を明らかにする。またドツツ・ドッシの作品にはミケランジェロの筋肉表現の強い影響を見る。またカルラッチ兄弟はローマのラッファエッロ芸術を基礎とし、古典主義的な流れを決定付けた。これらエミリア・ローマ地方の画家たちの芸術形成をわかりやすく解説している。

DVD No 78

タイトル Guercino グェルチーノ

ジャンル 美術史

制作年 1991年

作者=発案者 監督 ジョルジア・デ・ネーグリ

編者=監督 監修 ジョルジョ・マスケルバ アンドレア・エミリアーニ  
アキッレ・ボニート・オリヴァ

上映時間 27分

入力日 2015/02/22

**内容** ジョヴァンニ・フランチェスコ・バルビエーリ、通称イル・グェルチーノ（1591・1666）は1591年フェルラーラ近郊のチェントに生まれ、1666年没した。芸術において彼はヴェネト地方やローニャの画家、そしてカラヴァッジオに影響を受けた。一次資料は才能に富み、落ち着いた彼の性格について多くを語る。彼の手紙を読むと、優雅で深い言葉遣いから文化的な判断力はあったと考えられるが、理論書を著すほどの野心は持ちあわせていなかったため、芸術に関する彼の考えや理想を伝える文章はほとんど残されていない。美の神秘を探ろうとして新しい音楽を学び、絵を描く前に長く瞑想したドメニッキョの理論上の厳格さや、自らの理想とする世界に閉じ籠もり、経済的困窮の中でヒステリーに陥り、それが昇じて死に至ったグイド・レーニの苦勞に満ちた人生に比べると、グェルチーノは画家という職業を信じて明白な楽観主義と情熱を以て仕事に邁進した実践家であったようにみえる。フレスコ画作成にあたってはカルトーネを準備せず、古代美術をも学ばず、ヴェネト風に本能に基いて描いた。グェルチーノは、マニエリスムの生み出した象徴に満ちた図像を避け、急激な図像的革新を嫌った。つまり、何が何でも新しいことを行おうとすることに魅力を感じず、例えばヴェローナやトリノの《聖フランチェスコ》や《ローマの聖フランチェスカ》に見られるように同じ主題のヴァリエーションとして全く同じ構図を描いたと言える。

**解説** 教皇領で第二の都市であったボローニャ、公爵領として栄えたフェルラーラの風景から本編は始まる。ヴェネツィア美術の伝統を受け継ぎ、1621年以降はローマに招聘されて古典主義的な芸術を身に付ける。同時代の様々な絵画の流れを一身に汲む画家としてのグェルチーノを良く示している。音質も画質も制作当時としては良好で、鑑賞に値する。

DVD No 79

タイトル Giuseppe Maria Crespi: la natura, il corpo e il sentimento  
ジュゼッペ・マリアー・クレスピ：自然、人体と感情

ジャンル 美術史

制作年 1991年

作者=発案者 監督 ファウスト・ダローリオ

編者=監督 監修 ジョルジョ・マスケルバ アンドレア・エミリアーニ  
アキッレ・ボニート・オリヴァ

上映時間 27分

入力日 2015/02/22

**内容** ジュゼッペ・マリアー・クレスピ、通称スパニョーロ（スペイン人）は1665年3月26日にボローニャに生まれた。カヌーティとカルロ・チニャーニの工房で修行を積み、ヴェネツィア滞り後、ボローニャに居を構えて幾多の作品を制作した。ペポリ・カンボグランデ邸の2つの部屋にフレスコ画で《神々の饗宴》と《時間の馬車で曳かれるヘラクレス》を描いた。1747年7月16日ボローニャで没す。

**解説** ジュゼッペ・マリアー・クレスピに関するモノグラフは比較的少ない。その意味で本編は希少価値がある。

DVD No 80

タイトル Canaletto, Ceruti e il mondo nuovo カナレット、チェル  
ティと新しい世界

ジャンル 美術史

制作年 1988年

作者=発案者 監督 グイド・ゲルラージオ

編者=監督 監修 ジョルジョ・マスケルバ アンドレア・エミリアーニ  
アキッレ・ボニート・オリヴァ

上映時間 27分

入力日 2015/02/22

内容 本編は「光の世紀」の進歩的部分を予告・予告するものであり、18世紀の歴史  
的、批判的、詩的総体を忘れることなく、カナレット、チェルティ、ロン  
ギ、クレスピ、フラ・ガルガーリオ、マニヤスコら広くヨーロッパで活躍した  
画家たちに光を当てる。

ジョルジョ・マスケルバが発案し、グイド・ゲルラージオが起草・監督した  
このドキュメンタリーは、図像を通じて来る世紀の実像やその素晴らしい新し  
さを掘り起こし、視覚的場から幻影主義へ、階級を超えた人間的・社会的理  
解、近代への序曲へとつながっていく。

解説 写真が発明される前の時代に、現実をあるがままに描き、そこに民衆の生活や  
それに差し込む光を描き出した数人の作家達に焦点を合わせたドキュメンタ  
リーである。所謂「ヴェドゥータ」に表現されたヴェネツィアの風景には、現  
実を直視しようとする態度が明白に現れるが、それが「カブリッチョ」と呼ぶ  
一種の幻想画にも通奏低音のように響いている。崩壊前の成熟したヴェネツィ  
ア共和国の文化を、カルロ・ゴルドーニなどの演劇・文学にも言及しながら解  
説している。あまり名の知られていない肖像画家フラ・ガルガーリオも、この  
文脈の中に見事に位置付けられる。

DVD No 81

タイトル Il Settecento in Italia, il Tiepolo, il Barocchetto e le corti イ  
タリアの18世紀、ティエーポロ、バロケットと宮廷

ジャンル 美術史

制作年 1988年

作者=発案者 監督 ヴィットーリオ・アルメンターノ

編者=監督 監修 ジョルジョ・マスケルバ アンドレア・エミリアーニ  
アキッレ・ボニート・オリヴァ

上映時間 27分

入力日 2015/02/22

内容 ジョルジョ・マスケルバが発案し、ヴィットーリオ・アルメンターノが監督し  
た本編は、18世紀の美術に最も典型的に結び付いた「性格」、すなわち精神的  
な聡明さに繋がる建築、宮廷、美術そのものの持つ豪奢で極端な華やかさと全  
く新しい危険や発見を求める趣味との混淆を強調しようとする試みである。

その世紀のイタリアにおける議論の余地のない芸術家といえば、絵画ではジャン  
バッティスタ・ティエーポロであるが、最も才能に溢れ、形態と都市計画の  
分野で共に理性的な革新者であったのは、シチリア人フィリッポ・ユヴァルタ  
である。彼はサヴォイア家の建築家・都市計画者であり、ストゥビネージ、ヤ  
スーベルガ、トリノで活躍した。

解説 「バロケット」とは、「バロック」から派生した建築用語で、建物の内側全  
体に手の込んだ装飾を施す建築装飾を指す。ヨーロッパ宮廷で引く手数多だっ  
たティエーポロ親子の活躍を、個々の宮殿の装飾を至近距離から撮影すること  
によって解説する本編は、希少価値のあるドキュメンタリーである。

DVD No 82

タイトル Futurismo dal 1908 al 1918 未来派 1908年から1918年まで

ジャンル 美術史

制作年 1974年

作者=発案者 監督 ヴィットーリオ・アルメンターノ

編者=監督 監修 グイド・パッロ ルチアーノ・デ・マリア

上映時間 55分

入力日 2015/02/22

内容 未来派は20世紀のイタリアの文化的生活に刺激を与えた最も複雑で、最も議論の多い運動である。本編は、この運動が起こった社会・文化的側面を、特に表象芸術に光を当てて示すものである。

解説 20世紀初頭のミラノは、産業革命の成果が市民生活に深く入り込み、物質文明の勝利（それが一時的であるにしろ）が明白になると共に、それまでの象徴主義的な文化が終焉を告げる時代であった。その中で生まれた1909年2月20日の「未来派宣言」に連なる画家・彫刻家たちの活動を、当時の言説や映像を交えて詳細に解説した優れたドキュメンタリーである。

DVD No 83

タイトル Umberto Boccioni, Antonio Sant'Elia ウンベルト・ボッチョーニとアントニオ・サンテリア

ジャンル 美術史

制作年 1974年

作者=発案者 監督 ヴィットーリオ・アルメンターノ

編者=監督 企画 エンリーコ・メロナーリ

上映時間 25分

入力日 2015/02/22

内容 ボッチョーニは、1909年の未来派宣言に署名をした5人の画家の中では確かに最も重要な人物である。本編は、近代の絵画運動に、特に海外で強い影響を与えたこの特異で創意工夫に満ちたこの作家の作品を扱う。未来派運動の絵の中で特にサンテリアにとって、建築が著しい重要性を持った。彼は未来派的な素描で同時代の建築を大部分見越して描いている。このドキュメンタリーの目的は、1916年カルソの戦いで不幸にも早世したこの建築家の作品を明らかにすることにある。

解説 本編は、ボッチョーニとサンテリアの作品を数多く見せながら解説を加えることにより、未来派の二人の中心的人物を解説する。多くの作品が見られる点は興味深い、映像の質があまり高くない上、必ずしも映像に合っているとは言いがたいバックミュージックが少々耳障りである。

DVD No 84

タイトル Morandi モランディ

ジャンル 美術史

制作年 1990年

作者=発案者 監督 フレデリック・ロシフ

編者=監督 テキスト レンツォ・レンツィ

内容 「マドリッドに死す」「野生の祭」などの著名な映画の監督であるフレデリック・ロシフは、20世紀の最も偉大な3人の画家に捧げた理想的な三部作の中で「ブラック」「ピカソ」に次いで「モランディ」を、我がルーチェ社のために撮影した。

セザンヌとプロヴァンスの関係にも比することのできるジョルジョ・モランディと彼の街の緊密な関係は、画家が20世紀初頭から1964年6月の死に至るまで常にボローニャに留まり、矛盾に満ちた激動の時代を過ごしたことを考えると、一層重要なことに思われる。そこで彼は自らの主題に数限りない変奏を加えて描き、「異なる」時代の次元を生きたのである。その時代は、模倣できない傑作の数々を通してのみ示すことのできる「深い時代」なのである。モランディの生涯に見られるこの二重線を明白にするため、本編は非常に珍しい資料を用い、画家とその姉妹に関して撮影されたこの世に数少ない映像を用いている。

解説 本編は、モランディの生涯を詳細に解説する興味深いドキュメンタリーである。

上映時間 50分

入力日 2015/02/22

DVD No 85

タイトル Da Simone Martini ai Lorenzetti シモーネ・マルティエーニからロレンツェッティ兄弟へ

ジャンル 美術史

制作年 1993年

作者=発案者 監督 フランチェスコ・アショーネ

編者=監督 監修：ジョルジョ・マスケルバ アキッレ・ボニート・オリヴァ  
アンドレア・エミリアーニ

内容 シエナ市は、シモーネ・マルティエーニとビエトロ、アンブロージョのロレンツェッティ兄弟の「堂々たる」絵画にその活動の場を与えた。彼らはドゥッチョ・ディ・ブオンセーニャの後の時代に育ち、14世紀前半の中部イタリアを国の中で第二の文化・美術上の中心地に押し上げた。

解説 シエナ共和国は、1260年モンタルティの戦いでライヴアルのフィレンツェ共和国を破って以降、聖母の庇護の下、繁栄を謳歌した。本編は、その繁栄の頂点で活躍したシモーネ・マルティエーニやロレンツェッティ兄弟の活動の足跡を、作品の精査だけに留まらず街の景観なども交えながら分かりやすく解説している。画像は輪郭が曖昧で少々質に難があるものの、鑑賞に値するドキュメンタリーである。

上映時間 25分

入力日 2015/02/22

DVD No 86

タイトル *Boticelli, il suo tempo, i suoi amici artisti* ボッティチェッリ、その時代と友人の芸術家たち

ジャンル 美術史

制作年 1994年

作者=発案者 監督 グイド・アラータ

編者=監督 監修 ジョルジョ・マスケルバ アンドレア・エミリアーニ  
アキッレ・ボニート・オリーヴァ

上映時間 29分

入力日 2015/02/22

**内容** 本編は、ボッティチェッリとその著名な2人の弟子たち、すなわちアンドレア・デル・ヴェルロッキオとアンドレア・デル・カスターニョ、パオロ・ウッチェッロの生涯を明らかにする。彼ら3人は「ルネサンス期」の中心的作家だと考えられているからである。トスカーナ地方の小さな街で過ごした幼年期から青年期まで、そして当時のフィレンツェの「工房」での最初の修行まで、彼らの私生活を追う。自らの活動を探ることで、これまでにないほど豊かに一時代に華を添え、強調したドキュメンタリーである。

**解説** 渾名であるボッティチェリやヴェルロッキオ、カスターニョの名前の由来から脱き起こし、作品ごとに詳しい説明を加えながら彼らの生涯を追う。時折画像に難があるものの、非常に良くできたドキュメンタリーである。

DVD No 87

タイトル *L'Ottocento napoletano* ナボリの19世紀

ジャンル 美術史

制作年 1994年

作者=発案者 監督：アントニオ・モレッティ

編者=監督 監修 ジョルジョ・マスケルバ アンドレア・エミリアーニ  
アキッレ・ボニート・オリーヴァ

上映時間 29分

入力日 2015/02/22

**内容** ブルボン家のフェルディナンド4世、両シチリア王国の崩壊と統一イタリア王国の成立は、イタリア南部の19世紀を特徴付ける重要なできごとである。しかしながら、これらのできごとは同時代の絵画にはほとんど跡を残しておらず、むしろそこにはナボリの自然や建築物の美しさ、田舎の風景が描かれており、それはG.ズマルジャッシ、S.フレゴラ、ジャチント・ジガンテらを代表とする「ボジッリボ画派」や、M.デ・グレゴリーオ、S.デ・ニッティス、F.ロッサーノ、F.P.ミケッティとA.マンチーニらの「松脂画派」らの革新的絵画運動に刺激を与えたのである。

**解説** 日本ではほとんど知られていないが、天才画家ドメニコ・モレッリを擁した19世紀のナポリは、マッキアイオーリの活躍したフィレンツェと並んで、1861年の統一後のイタリア王国の美術の中心地の一つであった。ナポリ・シチリア両王国の首都から新生王国の一地方都市に転落する中で、ナポリは経済的には停滞し活力を失っていった。その中でも、多くの優れた芸術家を生み出したナポリは芸術・文化の中心地としての地位を失わなかった。そのことを良く示してくれるのが本ドキュメンタリーである。



DVD No 88

タイトル I Macchiaioli e il loro tempo マッキアイオーリとその時代

ジャンル 美術史

制作年 1994年

作者=発案者 監督 ジゼッラ・バガーノ

編者=監督 監修 ジョルジョ・マスケルバ アンドレア・エミリアーニ  
アキッレ・ボニート・オリヴァ

上映時間 29分

入力日 2015/02/22

内容 マッキアイオーリは19世紀のヨーロッパ絵画の歴史において第一義的な地位を占める。

1856年は「マッキア（染み）の生まれた年」と考えられる。本編は、ファットーリ、レーガ、アッパーティ、コスタ、シニョリーニ、チェチョーニや理論家と考えられたディエゴ・マルテッリら、この運動を進めた偉大な作家達のうちの何人かを扱う。

様々な人を演じる役者たちの助けで、この運動がロマン主義、新古典主義など同時代の他の画派から受けた関係、反響、敵意などが生き活きと描かれる。チェチョーニが「記憶」を辿って水彩画で描いたように、この運動の推進者たちはラルガ通りのカフェ・ミケランジェロに集まった。彼らこそが、自らの作品という時代の証憑を通じて自らの人生を語る芸術家たちなのである。その作品群は、「建物内部の人物」のいる場面に対して特別な注意を示し、自ら経験した「戦闘場面」や「闘い」などの絵画主題と並んで、「歴史的ジャンル画」の表現を読み直したのである。

解説 画家の作品をトスカナの美しい風景と重ね、美しい旋律に乗せて見せる冒頭は印象的であるが、どうせなら画家の描いた風景を少なくとも場所としてはそのまま見せてほしいと思わせる。次いで、単なるナレーションで解説を加えるのではなく、フィレンツェのカフェ・ミケランジェロに集うマッキアイオーリの画家たちの様子を俳優を用いて再現するの、他のドキュメンタリーにはない興味深い試みであるといえる。

DVD No 89

タイトル Carlo Carrà: una vita per l'arte カルロ・カルラー：芸術に捧げた一生

ジャンル 美術史

制作年 1993年

作者=発案者 監督 ジゼッラ・バガーノ

編者=監督 監修 ジョルジョ・マスケルバ アンドレア・エミリアーニ  
アキッレ・ボニート・オリヴァ

上映時間 25分

入力日 2015/02/22

内容 本編は、「芸術的・詩的風景」について語る偉大な画家の息子マッシモの伝える証言に基づきカルロ・カルラー（1881 - 1966）の生涯を明らかにする。

未来派での経験、形而上学的経験、「ジョットの空間性」への強い関心、そして自らの芸術言語を編み出すために他の傾向に属したくないと決定するまでに至る人生を追う。カルラーは次のように書いている。「私の夢全部を実現するまで生きるか、そしてこれからのできごとが私の熟望するものを正しいと認めるか、それは分からない」

解説 切り口として大変興味深く、鑑賞に値する。

DVD No 90

タイトル Savinio (Io, Alberto Savinio) サヴィーニオ、私、アルベルト・サヴィーニオ

ジャンル 美術史

制作年 1993年

作者=発案者 監督 ステーファノ・ボミーリア

編者=監督 監修 ジョルジョ・マスケルバ アンドレア・エミリアーニ  
アキッレ・ボニート・オリーヴァ

上映時間 28分

入力日 2015/02/22

内容 本編は、ジョルジョ・デ・キリコの弟アルベルト・サヴィーニオ（本名アンドレア・デ・キリコ1891・1952）という神経衰弱の魂を持ったイタリア人画家が辿った道程を描く。彼の子供のような魂はひと所に留まることができず、絵画、音楽、文学、演劇、批評の間を揺れ動いた。彼はアテネで生まれ、ギリシア、次いでミュンヘンで教育を受けた。1910年にパリに移り、そこでアヴァンギャルドの強い影響を受ける。1916年にフェルラーラに定住し、形而上学的絵画と触れ合う。その一派の一番の理論家として『造形的価値』を著す。また、1948年スカラ座で舞台装置や衣裳を担当し、ストラヴィンスキーの《火の鳥》やオッフエンバックの《ホフマン物語》を演出するなど、様々な才能を見せた。1952年5月5日サヴィーニオはローマで没した。

解説 兄のジョルジョ・デ・キリコに比べて圧倒的に知名度の低いサヴィーニオはしかし幾つかの分野で活躍した豊かな才能を持った芸術家である。本編は、その作家に焦点を当てた非常に珍しいドキュメンタリーであり、画像の輪郭が少々甘いにしても鑑賞に値する。

DVD No 91

タイトル Morlotti: Un lombardo tra i maggiori di tutti i tempi.  
"Morlotti, pittore e poeta" モルロッティ：あらゆる時代の最高のロンバルディア人、画家・詩人モルロッティ

ジャンル 美術史

制作年 1993年

作者=発案者 監督：アントニオ・モンダ

編者=監督 監修 ジョルジョ・マスケルバ アンドレア・エミリアーニ  
アキッレ・ボニート・オリーヴァ

上映時間 27分

入力日 2015/02/22

内容 エンニオ・モルロッティ（Ennio Morlotti 1910・）の生涯は20世紀をほとんど覆う。明らかにモランディの影響を受けた初期から、セザンヌ、ピカソの発見までの時期を、他のイタリア人作家との関わり、それに次ぐミラノやパリでの文化的生活に対する失望などを追って本編は描く。そこには、政治に関わった短いが激烈な瞬間、絵画における彼の模索にとって常に重要な宗教上の信仰と相容れない関係も含まれる。

解説 大戦間に青年期を過ごしたこの作家の生涯を、当時の映像をふんだんに用いながら解説する。文化史的な興味も尽きないドキュメンタリーである。